第５次すいた男女共同参画プラン

令和７年度（2025 年度）

施策実施状況

―年次報告―

令和８年(2026 年)10 月

吹　　田　　市

目　　次

●第５次すいた男女共同参画プランの概要・・・・・・・・・・・・・・・2

●第５次すいた男女共同参画プラン施策体系・・・・・・・・・・・・・・3

●第５次すいた男女共同参画プラン計画推進の指標・・・・・・・・・・・4

●男女共同参画に関する施策の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・7

基本方向１　　あらゆる分野における男女共同参画の推進・・・・・・・7
基本方向２　　暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保・・・・・・・・29
基本方向３　　男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり・・・・・・87

第５次すいた男女共同参画プランの概要

【計画の期間】

令和５年度（2023 年度）から令和７年度（2025 年度）までの３年間

【吹田市男女共同参画推進条例の基本理念】

１「男女の人権の尊重」
２「性別による固定的な役割分担等に基づく社会制度・慣行の解消」
３「家庭における活動と他の活動への対等な参画」
４「政策等の立案及び決定への共同参画」
５「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重」

【計画がめざすまち】

「すべての人が性別にかかわりなくいきいきと活躍し、安心して暮らすことのできる豊かなまち」

【計画の特徴】

１「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的かつ計画的に推進する計画です。
２「吹田市男女共同参画推進条例」に基づき、「第4次すいた男女共同参画プラン」を継続・発展させた計画です。
３「吹田市総合計画」を上位計画とする人権分野の個別計画であるとともに、他の個別計画との整合性をもたせたものです。
４「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」に基づく「DV防止基本計画」を含みます。
５「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に基づく「女性活躍推進計画」を含みます。

【計画の構成】

３つの基本方向、12 の基本課題を設定し、基本課題ごとに具体的取組を示しています。

第5次すいた男女共同参画プラン施策体系

基本方向	基本課題	主な取組	
1 あらゆる分野における男女共同参画の推進	1 政策や方針決定への女性の参画	1 市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大	
		2 市審議会等委員への女性の参画拡大	
	2 就労における男女平等	1 事業所における女性活躍の推進	※
		2 女性の就労の支援と能力開発の支援	※
		3 積極的格差是正や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援	※
		4 起業など女性の多様な働き方への支援	※
	3 仕事と生活における男女共同参画	1 長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し	※
		2 男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備	※
		3 仕事と育児の両立のための保育環境の整備	※
	4 地域における男女共同参画	1 防災・防犯分野における女性の参画拡大	
		2 男女共同参画を推進する市民団体等への支援	
		3 地域活動におけるジェンダー平等の推進	
2 暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保	1 暴力やハラスメント根絶の基盤づくり	1 暴力の根絶のための意識啓発と環境整備	
		2 性犯罪・性暴力防止対策の推進	
		3 ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進	※
	2 DVの根絶と被害者支援	1 DV防止に向けた啓発の推進	DV防止基本計画
		2 相談体制の整備充実	DV防止基本計画
		3 児童虐待防止対策との連携強化	DV防止基本計画
		4 被害者保護と自立支援の強化	DV防止基本計画
		5 DV加害者の更生支援	DV防止基本計画
	3 ライフステージに応じた健康支援	1 思春期における心とからだの健康づくりの推進	
		2 妊娠・出産期における健康支援	
		3 成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進	
		4 性と生殖についての理解の促進	
	4 困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備	1 貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援	
		2 ひとり親家庭に対する支援	
		3 多様な性に関する理解の促進	
3 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり	1 男女共同参画意識の形成	1 市職員に対する男女共同参画研修の充実	
		2 事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供	
		3 家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進	
		4 市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発	
	2 男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進	1 学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進	
		2 男女共同参画のための生涯学習の推進	
		3 男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成	
	3 国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進	1 ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供	
		2 外国人家庭に対する子育てなどの支援	
	4 男女共同参画推進体制の充実	1 市民団体等との協働・連携	
		2 男女共同参画センターの機能の充実	
		3 男女共同参画センターの利用の促進	

※女性活躍推進法に基づく女性活躍推進計画

第5次すいた男女共同参画プラン　計画推進の指標

基本方向1　あらゆる分野における男女共同参画の推進

番号	指標	策定時	実績値 令和7年度	目標値
1	市職員の管理職(課長代理級以上)に占める女性の割合	25.5%	26.8%	30%以上
2	審議会等委員における女性の割合	30.1%	31.7%	40%～60%
3	女性委員がいない審議会等の割合	7.9%	6.4%	解消する
4	女性を対象とした就労に関する講座数	4講座	4講座	5講座
5	管理職への登用において「平等である」と思う人の割合	21.4%	27.1% (令和6年度)※1	40%以上
6	男性市職員の育児休業取得率	31.6%	106.7%(注)	50%以上
7	育児休業・介護休業制度の利用があった事業所の割合	12.6%	15.3% (令和6年度)※2	20%以上
8	事業所を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する啓発の実施回数	3回	4回	5回
9	吹田市防災会議における女性委員の割合	19.4%	22.8%	30%以上

基本方向2　暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保

番号	指標	策定時	実績値 令和7年度	目標値
10	ハラスメントの相談窓口もしくは制度を定めている事業者の割合	21.4%	27.9% (令和6年度)※2	40%以上
11	セクシュアル・ハラスメントが同性間でも成立することを知っている人の割合	56.7%	63.7% (令和6年度)※1	70%以上
12	すいたストップDVステーションの認知度	16.3%	14.1% (令和6年度)※1	30%以上
13	中学校におけるデートDV予防啓発実施校数	13校	13校	18校
14	配偶者や交際相手から何らかの暴力を受けたがどこにも相談しなかった人の割合	48.0%	44.6% (令和6年度)※1	30%未満
15	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の認知度	14.5%	15.7% (令和6年度)※1	25%以上
16	子宮がん・乳がん検診受診率	子宮がん 49.8% 乳がん　51.4%	子宮がん 50.5% 乳がん 49.7% (令和4年度)※3	子宮がん 50% 乳がん　増加
17	生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった割合	41.3%	48.2%	50.0%
18	ひとり親家庭への就業支援により就業につながった人の割合	87.5%	71.4%	100.0%
19	「LGBT」の認知度	73.2%	83.8% (令和6年度)※1	90%以上

第5次すいた男女共同参画プラン　計画推進の指標

基本方向3　男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

番号	指標	策定時	実績値 令和7年度	目標値
20	「男は仕事、女は家庭」と思う市民の割合	女性20.5% 男性26.9%	女性14.4% 男性27.4% (令和6年度)※1	男女とも 15%未満
21	社会全体として男女の地位は平等であると思う市民の割合	15.5%	14.3% (令和6年度)※1	30%以上
22	男女が共に個性や能力を発揮できる社会になってきていると思う市民の割合	34.2%	37.2% (令和4年度)※4	40%以上
23	吹田市男女共同参画推進条例の認知度	35.1%	26.4% (令和6年度)※1	50%以上
24	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の際の指導方法に関する教職員への研修・講座内容に対する肯定的評価率	97.5%	100%	100%
25	「SDGs」の認知度	40.3%	81.9% (令和6年度)※1	80%以上
26	「ジェンダー・ギャップ指数」の認知度	19.5%	45.9% (令和6年度)※1	30%以上
27	児童・生徒の学校教育等の支援のための通訳者派遣回数	428回	1364回	450回以上
28	吹田市立男女共同参画センター「デュオ」の認知度	18.7%	18.9% (令和6年度)※1	30%以上

(出典)
※1　男女共同参画に関する市民意識・実態調査
※2　吹田市労働事情調査
※3　令和4年度(2022年度)吹田市市民意識調査から算出
※4　令和4年度(2022年度)吹田市市民意識調査

(注)　分子/分母＝当該年度中に新たに育児休業を取得した職員/当該年度中に子が生まれ、育児休業が取得可能となった職員で算出。前年度中に子が生まれ(前年度の分母で1計上)当該年度中に新たに育児休業を取得(今年度の分子で1計上)した職員がいることから、取得率が100%を上回っているものです。

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向１

あらゆる分野における男女共同参画の推進

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**1**	**政策や方針決定への女性の参画**
主な取組	**1**	**市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報を市民に発信し、政治や地方自治への関心を高めるとともに、市の政策・方針の立案・決定過程への女性の参画の重要性について啓発します**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号** **1・2・3**

目標	項目	数値等
	女性の活躍推進に関する情報の発信	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報をホームページに掲載することで市民に対し情報提供を行った。 また、新規採用職員に対して、男女共同参画に関する研修を行い、あらゆる分野における女性の参画の必要性について啓発した。
	(取組の効果と課題) ジェンダーギャップや女性の活躍推進について理解を深めることができた。
取組に対する事業の評価	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	様々な機会を捉え、ジェンダーギャップの現状や女性の活躍推進に関する啓発を実施する。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**1**	**政策や方針決定への女性の参画**
主な取組	**1**	**市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**女性職員の活躍を推進するため、働きやすい職場づくりを進めるとともに、役職者・管理職への登用を積極的に進めます**	
担当室課	**人事室**	**計画推進の指標番号** **1**

目標	項目	数値等
	管理的地位(課長代理級以上)に占める女性職員の割合	30%以上

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	25.5%	25.8%	26.5%	26.8%

実績値における前年度からの増減理由	役職者・管理職への登用を積極的に進めたことにより増加につながった。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 適性・経験を生かせる職場や多様な知識・経験を身に付けることができる職場への配置を進めるとともに、役職者・管理職への登用を積極的に進めた。
	(取組の効果と課題) 引き続き特定事業主行動計画に定めるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めながら、女性職員のキャリア支援を行い、管理職への登用を促進する必要がある。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	管理職として必要なマネジメント力を強化する研修を実施し、各職階に応じた業務内容の理解を深める。また、意欲を持って主体的に業務に取り組み、能力を最大限に発揮することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を始めたとした環境整備に努める。 役職者(主査級以上)に占める女性職員の割合は30%を超えており、今後も長期的に役職者・管理職への登用を積極的に進める。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**1**	**政策や方針決定への女性の参画**
主な取組	**1**	**市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**女性職員が職場で活躍できる意識向上となる研修等を開催します**	
担当室課	**人事室**	**計画推進の指標番号** **1**

目標	項目	数値等
	研修開催回数	1回/年度

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	1回

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 令和7年度は、職場における育児中職員への理解促進を図るとともに、女性活躍を支える、男性が育児を担う重要性について理解を深める研修を実施した。
	(取組の効果と課題) 令和7年度の研修では、組織・キャリア開発の専門家と元自治体職員で長期育児休業取得者の対談形式の講義及び対話形式のカード型育児体験ワークを実施することにより、管理職を中心に、職員の育児について考える機会となった。引き続き、効果的な研修を実施することでワーク・ライフ・バランスの実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する職員一人ひとりの意識向上を図る。

取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修を実施する。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**1**	**政策や方針決定への女性の参画**
主な取組	**1**	**市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**女性教職員の管理職登用を促進するため、長期的な視野で計画的に候補者を育成し、取組を進めます**	
担当室課	**教職員課**	**計画推進の指標番号** **1**

目標	項目	数値等
	女性管理職の登用率	35%以上

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	校長 42.6% 教頭 29.6% 管理職全体 36.1%	校長 40.7% 教頭 31.5% 管理職全体 36.1%	校長 40.7% 教頭 31.5% 管理職全体 36.1%	校長 37.7% 教頭 24.5% 管理職全体 31.1%

実績値における 前年度からの増減理由	令和7年度の女性管理職の登用率は、令和6年度より5ポイント減少し、目標値の35%を上回っていない。 令和6年度末役職定年等による退職管理職のうち7名が女性管理職であり、加えて、1名が市籍割愛、2名が交流人事により他市へ転出となったことにより、前年度より数値が減少した。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 教職員の年齢構成上、管理職の担い手が全体的に減少しているが、各校において母性保護や育児に関する諸制度の周知を図り、女性が働きやすい職場環境の整備に努めたほか、女性管理職候補の積極的な育成を、人事ヒアリングなどを通して各校に啓発した。令和7年度、女性管理職の登用率は減少したが、他市への人事交流に積極的に女性管理職を推薦する等、男女共同参画の推進を図った。
	(取組の効果と課題) 女性が働きやすい職場環境が整備されてきているほか、首席・指導教諭への女性登用が増加する傾向にあり、計画的な女性管理職候補の育成が進んでいる。市教育委員会勤務者や他市への人事交流者については今後、本市管理職として戻る見込であり、様々な経験を積んだ女性管理職の増加が見込まれる。引き続き、女性管理職候補の擁立に向け、職場環境の整備や意識の向上に取り組んでいく。

取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	女性教職員の管理職登用率が目標値に達するように、引き続き、女性が働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、長期的な視野で計画的に管理職候補を育成し、校長、教頭だけでなく教育委員会事務局へ割愛する指導主事も含めて、積極的な受験を促していく。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**1**	**政策や方針決定への女性の参画**
主な取組	**2**	**市審議会等委員への女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**審議会等における女性の参画状況を調査し、女性委員が少ない審議会を所管する担当室課へ働きかけを行い、審議会等委員への女性の参画を推進します**	
担当室課	**企画財政室**	**計画推進の指標番号** **2・3**

目標	項目	数値等
	①審議会等委員における女性の割合 ②女性委員がいない審議会等の割合	①40%～60% ②解消する

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①30.1% ②7.9%	①32.2% ②6.9%	①31.9% ②4.9%	①31.7% ②6.4%

実績値における前年度からの増減理由	①女性委員と委員総数はともに減少しており、女性委員の減少割合が委員総数の減少割合よりも高かったため。 ②審議会等全体の数は減少しているが、女性委員がいない審議会等の数が増加したことで、審議会等全体に対して女性委員がいない審議会等の占める割合が増加したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 令和7年度当初に、女性委員の積極的な選任に努める各室課に通知を行った。 また、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努めるように依頼を行うとともに、特に女性の参画割合が低い審議会等については、女性委員の参画率向上のための今後の方策を検討した。
	(取組の効果と課題) 特定の専門的な分野における審議会等では、委員に専門的な見地による助言、提言等を求めた結果が男性のみの委員構成に至ったものがある。分野によっては、候補となる人材に占める女性の割合が低いこともあると考えられ、女性のいない審議会等が存在している。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努め、男女双方の意見を反映できる審議会等となるよう依頼を行う。また、照会時には、女性委員がいない場合も含め女性の参画割合が低い審議会等について、その理由及び今後の方策について記入対象としており、その結果を踏まえ、女性の参加割合が低い審議会等について、全庁的に対応すべき方策について検討を行う。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**1**	**政策や方針決定への女性の参画**
主な取組	**2**	**市審議会等委員への女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**審議会等における女性の参画状況を調査し、女性委員が少ない審議会を所管する担当室課へ働きかけを行い、審議会等委員への女性の参画を推進します**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号** **2・3**

目標	項目	数値等
	①審議会等委員における女性の割合 ②女性委員がいない審議会等の割合	①40%～60% ②解消する

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①30.1% ②7.9%	①32.2% ②6.9%	①31.9% ②4.9%	①31.7% ②6.4%

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 行政委員会や審議会等における女性の割合について調査を実施し、結果を公表した。併せて、第5次すいた男女共同参画プランの目標値と現状値を庁内に周知し、女性委員の積極的な選任に努めるよう依頼した。
	(取組の効果と課題) 女性の参画拡大の必要性に関する理解は深まっているが、委員の選出母体である団体が女性の割合が少なく、どうしても男性が推薦されるという実態がある。そのため、様々な分野において女性の参画拡大が進むよう意識啓発を行っていく必要がある。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も様々な分野において女性の参画拡大が進むよう意識啓発を行っていく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**1**	**事業所における女性活躍の推進**
取組の具体的内容	**事業所に対して、誰もが能力を発揮することができるよう女性活躍推進に関する啓発や情報提供に努めます**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号** **5**

目標	項目	数値等
	女性活躍推進に関する情報の発信	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 市内事業所で組織する協議会の会議において、女性活躍に関する啓発を行った。また、ホームページに掲載することで、広く情報を発信した。
	(取組の効果と課題) 事業所における女性活躍推進に向けて、意識付けを行うことができた。 効果的な啓発方法について検討する必要がある。

取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業所に広く届く方法を検討していく。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**1**	**事業所における女性活躍の推進**
取組の具体的内容	**事業所に対して、誰もが能力を発揮することができるよう女性活躍推進に関する啓発や情報提供に努めます**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **5**

目標	項目	数値等
	セミナーの開催	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「女性の活躍推進」参加者5名	みんなで学ぶワークルールセミナー「非正規雇用労働の現状と課題」参加者10名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」参加者9名	「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」参加者39名

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 対面11名、Zoom参加28名、合計39名が参加。 社会保険の基礎や年収の壁についての内容や、産休・育休中の働き方のメリット、デメリット等の内容を説明する講義を実施した。
	(取組の効果と課題) 女性活躍推進に関する啓発や情報提供を他の手法で情報提供していく。

取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、各種機会を通じて啓発や情報提供を実施していく。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**2**	**女性の就労の支援と能力開発の支援**
取組の具体的内容	**JOBナビすいたにおいて、女性が求職活動を実施する際に必要な情報資料を提供します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **5**

目標	項目	数値等
	女性が求職活動を実施する際の必要な就労支援	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	―	―

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) JOBナビすいたにおいて、各種セミナーや相談、面接会等の就労支援や、職業情報資料提供を実施した。
	(取組の効果と課題) 利用者数は年々増加しており、相談から就職先の斡旋まで実施できている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、セミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**2**	**女性の就労の支援と能力開発の支援**
取組の具体的内容	**安心して働くことができる職場環境の形成に向けた知識と理解を深めるため、事業所に対して労働問題全般にわたる情報を提供します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **5**

目標	項目	数値等
	セミナーの開催	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」参加者9名	「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」参加者39名

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 対面11名、Zoom参加28名、合計39名が参加。 社会保険の基礎知識、年収の壁について等、労働問題全般にわたる講義を実施した。
	(取組の効果と課題) 女性活躍推進に関する啓発や情報提供を他の手法で情報提供していく。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、各種機会を通じて啓発や情報提供を実施していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**2**	**女性の就労の支援と能力開発の支援**
取組の具体的内容	**労働相談において、多様化、複雑化する相談事案に対応します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **5**

目標	項目	数値等
	多様化・複雑化する相談事案への対応	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	―	―

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 職場における健全な労使関係の確立、労働福祉の推進を図ることを目的として労働相談(第2水曜日に弁護士、第1.3.4.5水曜日に社会保険労務士による相談)を実施。 (取組の効果と課題) 解雇・賃金未払い・セクハラ・社会保険制度全般や労働災害に関すること等、様々な相談を受けている。問題解決に向けての今後の取組むべき内容や課題整理に役立ったという声が利用者から多く寄せられている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き労働相談を実施していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**2**	**女性の就労の支援と能力開発の支援**
取組の具体的内容	**女性対象に再就職等、就労についての講座を開催します。また、在職者の能力向上のための講座を開催します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **4**

目標	項目	数値等
	対象講座開催数	5講座

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	5講座	3講座	1講座	4講座

実績値における前年度からの増減理由	新たに、家族で家事を分担する仕組みを考える講座や育休復帰に備え、仕事と子育ての両立について夫婦で考える講座等を実施したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 育休復帰に備え、仕事と子育ての両立について夫婦で考える講座、自分も相手も尊重しながら自己主張するアサーティブコミュニケーションに関する講座等を実施した。 (取組の効果と課題) 職場における良好な人間関係を築く一助となる機会を提供できた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	対象者が知りたい内容を検討し、引き続き実施する。働き続けるために必要な情報を提供する。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**2**	**女性の就労の支援と能力開発の支援**
取組の具体的内容	**若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高めるため、講座や企業での職業体験等の学習機会を設けます**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目		数値等	
	様々な職業選択の支援につながる講座		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	2講座	1講座	1講座

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女子の理工系分野への進路選択を支援することを目的として、小学生対象の科学講座を実施した。
	(取組の効果と課題) 保護者への啓発も実施した。

取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	子と親の両方に啓発するために、引き続き実施する。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**	
基本課題	**2**	**就労における男女平等**	
主な取組	**2**	**女性の就労の支援と能力開発の支援**	
取組の具体的内容	**若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高めるため、講座や企業での職業体験等の学習機会を設けます**		
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号**	**5**

目標	項目		数値等	
	主に中学2年生を対象に職業体験を行う学校数		18校(全校)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1校	3校	5校	6校

実績値における 前年度からの増減理由	令和5年に新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行されたことにより、各校でコロナ禍前に実施していた職業体験学習を再開した。また、再開にあたり、事業所の確保が難しく断念していた学校も、その目途が立ち再開するところもあった。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行されたことにより、職業体験等の実施を見合わせていた学校が実施を再開した。実際に職業を体験できる職業体験は生徒にとって貴重かつ有意義な経験となっている。また、企業立案型キャリア教育として、企業と連携して課題を解決する方法を探究し、プレゼンテーションをして発表するなど、様々な形でキャリア教育に取り組む学校もあり、多様化している。目標は全校での職業体験実施であるが、昨年と比較し、実施校が増加している状況から目標達成に向けて計画通り進んでいると判断し、評価はAとする。
	(取組の効果と課題) 児童・生徒は、職場体験や企業との連携を通して、社会とのつながりを学び、自己の個性や生き方、多様な進路選択を考える力を育成することができた。一方で、職業体験はキャリア教育の大きな枠組みの一つであるとして、小・中学校の9年間を通した教科横断的な取組として実施するよう、検討する必要がある。

取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**3**	**積極的格差是正や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援**
取組の具体的内容	**市が実施する総合評価落札方式一般競争入札において、女性の活躍推進や仕事と子育ての両立に取り組む事業所を評価します**	
担当室課	**契約検査室**	**計画推進の指標番号** **5**

目標	項目	数値等
	工事の総合評価落札方式の入札実施にあたり 男女共同参画への取組を評価に加える。	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 工事の総合評価落札方式において、引き続き「女性活躍推進法に基づく「えるぼし」、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」のいずれかの認定を受けている。」ことを評価項目としている。(「吹田市総合評価落札方式(特別簡易型)　落札者決定基準」) (取組の効果と課題) 入札参加事業者の就労の場における男女共同参画が推進されるものと考えるが、更に適切な評価項目を検討していく。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	入札参加事業者の就労の場における男女共同参画が推進されるものと考えるが、更に適切な評価項目を検討していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**4**	**起業など女性の多様な働き方への支援**
取組の具体的内容	**女性対象に起業をするために必要な実践的知識を学ぶ講座を開催します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **4・5**

目標	項目	数値等
	対象講座開催数	1講座

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1講座	1講座	1講座	1講座

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性を対象に、起業・創業を支援するための連続講座を開催した。人気の講座で、昨年度に続き8回講座とし、創業に向けての心構えに関することから事業計画作り、SNS等の活用など、広く学ぶ内容。 (取組の効果と課題) 受講者同士が情報交換をする時間を設け、様々な情報を持ち帰ってもらった。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	商工会議所等と連携し、引き続き実施する。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**2**	**就労における男女平等**
主な取組	**4**	**起業など女性の多様な働き方への支援**
取組の具体的内容	**市民や事業所に対して、多様な働き方について、セミナーや情報提供などの啓発を実施します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **5**

目標	項目	数値等
	セミナーの開催	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」参加者9名	「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」参加者39名

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」にて、「働き方改革」に関するセミナーを開催。
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することが職場環境の改革に繋がることから、市民や事業者が参加できるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、各種機会を通じて啓発や情報提供を実施していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**1**	**長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し**
取組の具体的内容	**事業者に対して、働きやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや情報提供などの啓発を実施します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **8**

目標	項目	数値等
	セミナーの開催	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」参加者9名	「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」参加者39名

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」にて、「働き方改革」に関するセミナーを開催。
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することがワークライフバランスに繋がることから、市民や事業者が参加できるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、各種機会を通じて啓発や情報提供を実施していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**1**	**長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し**
取組の具体的内容	**事業者に対して、働きやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや情報提供などの啓発を実施します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **8**

目標	項目	数値等
	啓発回数	2回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	4回	3回	3回

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内を行った。
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、働きやすい職場環境づくりに関する情報を提供することができた。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**1**	**長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し**
取組の具体的内容	**ワーク・ライフ・バランスの推進のため、市報や啓発誌を通して事例を紹介します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **8**

目標	項目	数値等
	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	1回

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 家族で家事を分担し、それぞれが仕事と家事の両立を目指す講座を実施した。
	(取組の効果と課題) 共働き夫婦に対して、家事の分担について考えてもらう機会を提供できた。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続的に啓発を行っていく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**1**	**長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し**
取組の具体的内容	**業務の見直しや職員の意識改革により市職員の長時間労働の是正を図り、仕事と家庭生活の両立を促進します**	
担当室課	**人事室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	時間外勤務時間が年間360時間以下の職員の割合	100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	89.5%	91.2%	92.2%	92.5%

実績値における前年度からの増減理由	職員の時間外勤務縮減意識の向上により、長時間労働者が減少したことで数値の増加につながった。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 組織マネジメント、マニュアル作成、実務能力向上に資する研修への参加を促進するとともに、時間外勤務縮減について職員に周知を行った。 勤務間インターバルの制度を導入し、インターバル確保に係る取組を推進するよう所属長に周知を行った。
	(取組の効果と課題) 時間外勤務縮減意識の向上により目標の達成に近づいているものの、達成には至っていない。今後も引き続き、業務の効率化や時間外勤務縮減に向けた取組を推進していく必要がある。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、効果的な研修の実施及び職員に対する時間外勤務縮減の周知啓発を進める。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**制度の周知により、男性市職員の育児・介護休業等の取得促進に向けた意識啓発を行います**	
担当室課	**人事室**	**計画推進の指標番号** **6**

目標	項目	数値等
	男性職員の育児休業取得率	50%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	44.9%	37.1%	75.0%	106.7%

実績値における前年度からの増減理由	職場環境の整備、職員の意識向上により、令和6年度と比較して育児休業取得率が増加した。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 育児・介護に関する休暇休業制度の周知を行い、仕事と家庭生活の両立に向けた意識啓発を行った。
	(取組の効果と課題) 令和7年度については男性の育児休業取得率が目標を達成している。引き続き周知啓発を行い、目標値の維持に努める。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き目標を達成できるよう、取組を進める。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**男性料理教室や参画スタッフの活動など、男性を対象とする講座を充実します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	対象講座延べ男性受講者数	80人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	87人	135人	60人	81人

実績値における前年度からの増減理由	昨年度は1回の実施であった父子料理講座を、今年度は2回実施したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 初心者向け男性料理講座と、父と子で協力して作る料理講座を実施した。また、「夫婦で子育て」をテーマにした講座の中で、父と子でできる遊びを紹介した。
	(取組の効果と課題) 初めてセンターに来た受講者が多く、講座の企画内容を工夫した効果があった。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男性に家事を担うきっかけにしてもらうため、継続して実施していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**男性料理教室や参画スタッフの活動など、男性を対象とする講座を充実します**	
担当室課	**まなびの支援課**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	生涯学習事業の講座実施数	3回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	2回	1回	1回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 子育て世代の男性を対象とした育児に関する講座を1回実施した。 前年同様、定員オーバーで抽選参加になった。
	(取組の効果と課題) アンケートにて講座内容に満足した旨の回答が多く、男性の育児への参画について高い効果が期待できる。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	受講者からの意見を取り入れた講座の追加実施等を検討する。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**事業所に対して、男性の育児・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けて、セミナーや情報提供などの啓発を実施します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **7・8**

目標	項目	数値等
	啓発回数	2回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	4回	3回	3回

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内を行った。
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、働きやすい職場環境づくりに関する情報を提供することができた。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**事業所に対して、男性の育児・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けて、セミナーや情報提供などの啓発を実施します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **7・8**

目標	項目	数値等
	セミナーの開催	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「男性の育児休業取得」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」9名	「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」39名

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 「私の扶養・働き方はこれからどうなる！？～社会保険のいろは～」にて、「働き方改革」に関するセミナーを開催。
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することがワークライフバランスに繋がることから、市民や事業者が参加できるセミナーの開発は重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、各種機会を通じて啓発や情報提供を実施していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**父親の育児休業取得や家事や育児への協働について妊娠届出時や両親教室などで啓発します**	
担当室課	**すこやか親子室**	**計画推進の指標番号** **7**

目標	項目	数値等
	①妊娠届出時の「さんきゅうパパBOOK」の冊子配布率 ②プレパパ・ママ教室への父親の参加者数	①妊娠届け出数に対する冊子配布率 ②定員数（R6：960人、R7：960人）

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①100% ②391人	①100% ②626人	①100% ②698人	①100% ②579人

実績値における前年度からの増減理由	R7年度はプレパパ・ママ教室の参加組数自体が減少したため、父親の参加者数も減少。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） ①妊娠届出時に「さんきゅうパパBOOK」の冊子を配布し、育児休暇制度取得の啓発に努めている。 ②講義や赤ちゃん人形を用いて抱っこ等の実習を行い、父親に家事や育児の協働を促している。
	（取組の効果と課題） ②参加後のアンケート結果より、教室内容への満足度は99.8%と高い。「参加してみて心境の変化はありましたか」の質問に対して「変化があった」と回答した人は80.5%あり、育児参加に肯定的な意見が多かった。

取組に対する事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	引き続き、初めて父親になる方を対象に育児の方法等が学べる教室を提供し、育児及び家事の協働について啓発していく。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**子供や青少年を対象とした料理に関する講座を実施します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	対象講座延べ受講者数（子供・青少年）	16人

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	16人	17人	8人	16人

実績値における前年度からの増減理由	昨年度は1回の実施であった父子料理講座を、今年度は2回実施したため。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 子供が積極的に家事に参加することを促すため、父と子で協力して料理をする講座を、夏と春に実施した。
	（取組の効果と課題） 料理を通して、楽しく学んでもらうことができた。

取組に対する事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	ニーズが高く、受講者の満足度も高い講座であるので、継続して実施していく。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**育児施設における父親向けのプログラムを充実します**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	男性の育児について情報共有と啓発	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	―	―

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域支援事業の中で、父親が参加できるプログラムを企画してきた。
	(取組の効果と課題) 父親の参加できるプログラムを提供することで、男性の育児参加の促進につながった。

取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	継続して取組を行っていく。	

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**3**	**仕事と生活における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備**
取組の具体的内容	**育児施設における父親向けのプログラムを充実します**	
担当室課	**のびのび子育てプラザ**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	開催回数、参加人数	48回、960人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	開催回数 48回 参加人数 640人	開催回数 42回 参加人数 581人	開催回数 38回 参加人数 515人	開催回数 40回 参加人数 615人

実績値における前年度からの増減理由	4月と8月を除く毎月4回開催した。(1回あたりの平均参加人数は増減なし)
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 特に月齢の小さい赤ちゃんの父親が子への関わりに自信が持てるよう工夫している。毎月継続的に参加される方もある。
	(取組の効果と課題) おとうさんとあそぼう(親子教室)の開催時だけでなく、父親と子供で来館される方が増えている。

取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	目標値は達成していないが、取組の効果は見られる。父親が主体的に育児に参加できるように、引き続き継続して実施する。	

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画
主な取組	3	仕事と育児の両立のための保育環境の整備
取組の具体的内容	保育所等の整備により、保育の受け皿を確保します	
担当室課	保育幼稚園室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	待機児童数(各年4月1日時点)	0人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0人 (新たな保育の受け皿確保数 1か所、100人)	0人 (新たな保育の受け皿確保数 0か所、0人)	4人 (新たな保育の受け皿確保数 5か所、166人)	17人 (新たな保育の受け皿確保数4か所、147人)

実績値における前年度からの増減理由	保育施設利用申込者の急増による。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 保育施設の設置者募集等を実施した。
	(取組の効果と課題) 施設整備等により保育提供量を確保したものの、一部の地域及び年齢では依然として不足している。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	保育施設利用申込数は増加傾向にあることから、既存施設の活用や施設整備により、引き続き提供量の確保に取り組む。

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画
主な取組	3	仕事と育児の両立のための保育環境の整備
取組の具体的内容	児童の放課後の家庭に代わる安心・安全な居場所と保育を提供します	
担当室課	放課後子ども育成室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	留守家庭児童育成室の待機児童数	0人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	待機児童数 11人 (入室児童数 4,688人)	待機児童数 106人 (入室児童数 4,962人)	待機児童数 7人 (入室児童数 5,395人)	待機児童数 0人 (入室児童数 5,907人)

実績値における前年度からの増減理由	入室希望児童の大幅な増加に備え、必要な指導員と教室数を確保した。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 令和7年度の運営状況については、育成室の入室希望児童が大幅に増加している状況を踏まえ、小学校の協力を得ながら必要な施設の確保を進めた。また、指導員の欠員を解消するため、複数回の採用試験の実施や人材派遣サービス活用等により指導員の確保を行うとともに、あらたに4育成室の運営委託を開始し、全体で20育成室が委託、15育成室が直営の育成室となった。 また、特に入室児童の増加が見込まれ、教室確保に課題がある地域において、私立幼稚園、認定こども園による民設の放課後児童クラブ(留守家庭児童育成室)の設置を目指し、1つの施設で令和8年度から事業開始することができた。 これまで対策が限定的であった、委託育成室指導員の賃金改善支援のため、あらたに国府の交付金を活用した事業の実施を目指し、令和8年度から開始することができた。
	(取組の効果と課題) 児童数の増加と指導員不足、教室の不足により令和7年4月時点で入室申請者数は5,911人、入室児童数は5,907人で、4人の待機児童が生じた。 待機児童については、令和7年9月1日時点で解消した。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も利用希望児童数の増加が見込まれ、これまでの対策では、児童の受入れに限界がきている。持続可能な事業とするためには、様々は対策を複合的に実施していくことが必要なことから、対応検討プランを整理し、対策を講じる必要がある。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**		
基本課題	**4**	**地域における男女共同参画**		
主な取組	**1**	**防災・防犯分野における女性の参画拡大**		
取組の具体的内容	**女性の視点を地域防災計画や防災・防犯施策に反映させるため、吹田市防災会議等の防災・防犯に関する政策・方針決定過程へ、女性の学識経験者等を積極的に登用し、女性の参画を拡大します**			
担当室課	**危機管理室**		**計画推進の指標番号**	**9**
目標	項目		数値等	
	男女共同参画の視点を入れる取組の有無		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員3名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員4名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員4名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員5名(女性)を委嘱した。
実績値における前年度からの増減理由	現行の学識経験者とは異なる分野での専門的知見を有していることから、本市防災会議委員として有益な御助言等が期待できるため、新たに外部委員として委嘱するにあたった。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 外部委員(女性)の1名増加。			
	(取組の効果と課題) 令和7年度は防災会議の開催なし。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後は会議の開催状況・内容にあわせて検討する。			

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**		
基本課題	**4**	**地域における男女共同参画**		
主な取組	**1**	**防災・防犯分野における女性の参画拡大**		
取組の具体的内容	**避難所運営や災害ボランティア活動などにおいてジェンダーの視点からの配慮に取り組みます**			
担当室課	**危機管理室**		**計画推進の指標番号**	**9**
目標	項目		数値等	
	男女共同参画の視点を入れる取組の有無		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域防災リーダー育成講習において、男女共同参画センター主催の参画スタッフ養成セミナーと連携することで、男女共同参画の視点を取り入れた。	地域への防災講座を実施する際に、災害時における男女共同参画の視点を踏まえた内容とした。	地域への防災講座を実施する際に、災害時における男女共同参画の視点を踏まえた内容とした。	地域への防災講座を実施する際に、災害時における男女共同参画の視点を踏まえた内容とした。
実績値における前年度からの増減理由				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 防災講座の内容に、男女共同参画の視点を盛り込むとともに、HUG(避難所運営ゲーム)を実施して避難所運営開設の注意点の共有などを行うことで、避難所運営における男女共同参画の必要性を説明した。			
	(取組の効果と課題) 災害時における男女共同参画の必要性について地域と共有を行えた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して男女共同参画の視点を取り入れるとともに、その重要性・必要性を継続して地域と共有を行っていく。			

基本方向	1	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	4	**地域における男女共同参画**
主な取組	1	**防災・防犯分野における女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**女性消防職員の採用・登用を促進するとともに、職業能力の向上を支援します**	
担当室課	**企画総務室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	女性消防職員の採用	3人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1名	0名	4名	8名

実績値における前年度からの増減理由	令和7年度実施の採用試験(前期・後期)において、女性8名を採用できたため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 近隣専門学校へ出向き、在校生に直接説明会を実施。また、救急グループの実施する中学生対象の救命講習(救命入門コース)に参加し、各教室内にリーフレットを掲示していただくなど、女性活躍推進のPR活動を行った。 (取組の効果と課題) 令和7年度から始めた取組は、長期的・持続的な採用を見越した取組であるため、すぐに結果が出るものではないが、昨年度の女性採用実績が、専門学校などで広まり、吹田市消防本部の女性活躍推進活動について間接的に広報できたと思う。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	全消防吏員に対する女性消防吏員の割合は、国の目標である5%に近づけることができたが、急激な女性吏員増加に伴う諸課題の洗い出しと対策が必要と考える。

基本方向	1	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	4	**地域における男女共同参画**
主な取組	1	**防災・防犯分野における女性の参画拡大**
取組の具体的内容	**女性消防団員の入団を促進し、防災分野における女性の参画拡大に取り組みます**	
担当室課	**企画総務室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	女性消防団員の入団	8名

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	5名	4名	2名	0名

実績値における前年度からの増減理由	女性消防団員の入団がなかったため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 各種イベント(吹田スタジアムフェスタやグリーンプレイスフェスタ等)に参加し、多くの市民等に入団を呼び掛けた。また、他市の女性団員の取組みを知り本市の活動に活かせるように全国女性消防団員活性化大会(長崎市)へ女性消防団員1名を派遣し、本市に在籍する女性消防団員へフィードバックを行った。 (取組の効果と課題) 令和7年度中において、男性消防団員の新規入団はあったが、女性消防団員の入団がなかった。また、近年男女問わず若年層の入団希望者が少ないため、PRの方法や女性が活躍できる活動の幅を増やすなど、引き続き消防団幹部と連携を図る必要がある。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	イベントでの啓発活動を引続き継続し、SNSの新規開設や市報にも女性消防団員の特集ページを掲載する等より一層広報活動の強化を図る。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**4**	**地域における男女共同参画**
主な取組	**2**	**男女共同参画を推進する市民団体等への支援**
取組の具体的内容	**男女共同参画に関するリーダー養成講座の開催や、市民団体等の交流・ネットワークづくりを支援します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	対象講座延べ受講者数	320人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	382人	334人	392人	354人

実績値における前年度からの増減理由	参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の受講者数が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を持ち、情報発信力などのスキルを身に付けた人材を育成するための講座を開催した。また、子育て中の人の学習を支援するために、受講中の一時保育を担う人材を養成する講座を開催した。 また、市民の男女共同参画の活動に部屋を貸し出すほか、センターを拠点に活動する市民団体等を支援するため、センター内の印刷機の使用許可や、登録団体へのロッカー及びレターケースの無償貸与等を行った。
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけではなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらい、リーダーシップを発揮できる場を提供できている。 市民団体等への活動支援は一定行うことができたが、新たな団体等の利用促進等が課題である。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	対象講座を受講してもらうために、引き続き市民に対して周知を行う。その際は、男女共同参画に関するテーマについて、自分事として考えてもらえるように市民に伝わりやすい言葉で発信する。 また、新たな団体等の利用促進に向けた情報発信を行うなど周知に努める。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**4**	**地域における男女共同参画**
主な取組	**3**	**地域活動におけるジェンダー平等の推進**
取組の具体的内容	**性別にかかわらず参加できるよう市民公益活動を支援します**	
担当室課	**市民自治推進室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	設定なし	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ボランティア・NPO初歩講座、地域人材育成のための連続講座等の実施や、週末や余暇の新しい過ごし方として、「短時間でできる(ぷち)ボランティア活動」のプログラムの提供等、性別に関わらず市民公益活動に参加いただけるよう支援を実施している。また、市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業として、市民協働のニーズを受け付け、分野やセクターを超えた連携・マッチングの支援ができる状況を整えている。
	(取組の効果と課題) 市民が、ボランティアやNPO、地域の活動について知り、自分に合った市民公益活動を見つけ参加することに繋がった。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も、市民のボランティア活動のきっかけとなるように広報活動やマッチングを実施し、また市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進できるよう、体制を確保していく。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**4**	**地域における男女共同参画**
主な取組	**3**	**地域活動におけるジェンダー平等の推進**
取組の具体的内容	**ジェンダーの視点をもったボランティア人材を養成します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	対象講座延べ受講者数	320人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	382人	334人	392人	354人

実績値における前年度からの増減理由	参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の受講者数が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を持ち、情報発信力などのスキルを身に付けた人材を育成するための講座を開催した。男女共同参画について正面から考えてもうらうためのテーマを取り入れた。また、子育て中の人の学習を支援するために、受講中の一時保育を担う人材を養成する講座を開催した。
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけではなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらい、リーダーシップを発揮できる場を提供できている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	対象講座を受講してもらうために、引き続き市民に対して周知を行う。その際は、男女共同参画に関するテーマについて、自分事として考えてもらえるように市民に伝わりやすい言葉で発信する。

基本方向	**1**	**あらゆる分野における男女共同参画の推進**
基本課題	**4**	**地域における男女共同参画**
主な取組	**3**	**地域活動におけるジェンダー平等の推進**
取組の具体的内容	**地域における女性の参画状況の調査結果を公表するとともに、各種団体における女性の参画拡大に向けて意識啓発を行います**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	自治会長における女性の割合の調査	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 自治会長における女性の割合を調査し、結果を公表した。
	(取組の効果と課題) 調査結果を公表することにより、地域活動における女性の参画状況の現状を周知することができた。 男女共同参画意識の醸成には継続した啓発が必要。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も効果的な啓発方法を検討していく。

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向２

暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**暴力（DV、ハラスメント等）、性の商品化等の根絶のため、パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて広報、啓発を推進します**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	啓発冊子等の発行部数	設定なし

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	Wリボンプロジェクトチラシ 9,000枚

実績値における前年度からの増減理由	イベント等において、チラシ配布の機会が増えたため。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 人権政策室が主催するイベント等で「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現に向けて啓発用チラシを配布するとともに、ホームページ、LINE、XなどSNSにて情報を発信した。また、スタジアムフェスタに出展し、暴力防止の取組を広く周知した。
	（取組の効果と課題） 多くの市民が参加するイベントで啓発することで、人権の問題に触れる機会が少ない人にも広く周知することができた。
取組に対する事業の評価	A A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	意識啓発には継続した取組が必要であるため、今後も様々な機会、媒体を通じて暴力防止の啓発に努める。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**暴力（DV、ハラスメント等）、性の商品化等の根絶のため、パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて広報、啓発を推進します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	啓発誌ソフィアにおいてDV関連の記事を掲載する	1記事

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3記事/ソフィア103号 デートDVとWリボンプロジェクト 等の記事を掲載	2記事/ソフィア105号 Wリボンプロジェクト 等の記事を掲載	2記事/ソフィア107号 Wリボンプロジェクト 等の記事を掲載	2記事/ソフィア109号 Wリボンプロジェクト 等の記事を掲載

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） ソフィアの中で、W(ダブル)リボンプロジェクトの特集記事やDV被害者に気付いたときの相談窓口に関する特集記事を掲載した。
	（取組の効果と課題） ソフィア内でDVについて取り上げ、広く周知を行った。
取組に対する事業の評価	A A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	今後も引き続きDVに関する啓発を行っていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます	
担当室課	家庭児童相談室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	リーフレットの配布部数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	22,000部	47,000部	47,000部	47,000部

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待防止推進月間において、啓発用のポスターやリーフレットを保育園や幼稚園、小学校、中学校へ配布した。 また、市民向けの講演会の開催を行うとともに、すこやか親子室での乳幼児健診時に児童虐待防止に関するリーフレットを配布するなど、児童虐待防止に向けた啓発活動を行った。 (取組の効果と課題) 市民に対し、様々な場面で児童虐待防止に関する啓発活動を行うことで、児童虐待防止への意識の醸成を図ることができた。引き続き虐待防止に向け広報・啓発を行っていく必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き児童虐待防止について広報、啓発を行っていく必要がある。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます	
担当室課	保育幼稚園室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	暴力を許さない意識の啓発	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 保護者等へ掲示物を掲示し、啓発に努めた。 (取組の効果と課題) 保護者等が暴力を許さない子育てについて、意識をもって子育てできるよう啓発方法を工夫必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	年間で計画立てて、保護者への意識づけを掲示のみでなく伝えていけるよう取組む。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます	
担当室課	学校教育室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	「児童の権利に関する条約」啓発パンフレットの配布	小学校1年生保護者への配布100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 小学校1年生保護者に配布し、虐待防止やいじめ問題の解決に向けた内容や、相談窓口等についての周知・啓発を行った。合わせて、各校・園に児童の権利に関する条約パンフレットを配布するとともに、施設、PTAにも配布を行った。
	(取組の効果と課題) 小学校入学時に保護者へ配布するにあたり、虐待やいじめ問題といった人権課題の解決に向けた内容を周知する機会となり、新入生全家庭への啓発となっている。今後も、「児童の権利に関する条約」について保護者等に紹介し、人権意識の向上と啓発を目指していく必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備
取組の具体的内容	市職員や教職員への研修を行います	
担当室課	人事室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	研修開催回数	1回/年度

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	1回	1回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権政策室が主催する市民向けセミナーを職員研修扱いとした。
	(取組の効果と課題) 人権に関するセミナーを職員研修扱いすることにより、職員の意識啓発を推進した。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら、引き続き研修を実施する。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**市職員や教職員への研修を行います**	
担当室課	**教育センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	研修内容に対する肯定的評価率	（とても良い、良い） 100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	（取組の実施状況） 暴力根絶のための意識啓発と環境整備に係る研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。
	（取組の効果と課題） 暴力根絶に関する研修は、初任者研修や経験の少ない教職員対象の研修及び教育課題別研修において、グループワークやロールプレイなど体験的に学ぶことや不祥事を起こさないためのリスクマネジメントなどの学びを通して、子供理解に関する内容に関連付けて、暴力は決して許されないことであり、自らの言動が威圧的・高圧的なものとなっていないかなど自己の振り返りや意識啓発を行った。
取組に対する 事業の評価	A A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**防犯カメラ、防犯灯、街路灯等の整備など危険場所のチェックと環境改善に取り組みます**	
担当室課	**危機管理室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	防犯カメラの設置 （平成28年度から平成30年度までの3か年計画に基づく設置）	設置済み

実績値	令和4年度増設台数(合計台数)	令和5年度増設台数(合計台数)	令和6年度増設台数(合計台数)	令和7年度
	97台 （804台）	95台 （899台）	0台 （899台）	0台 （899台）

実績値における 前年度からの増減理由	防犯カメラの適正数については機器の更新時期に併せて検討してきたが、令和7年度は機器更新がなかったため台数の増減なし。
令和7年度の 取組状況	（取組の実施状況） 地域の防犯力向上に資するよう地域の実情や犯罪情勢等を踏まえ、吹田警察等と連携して防犯カメラを運用した。
	（取組の効果と課題） 防犯カメラ設置以前の平成28年の吹田市における犯罪認知件数は、3,309件だった。令和7年は2,034件と大幅に減少しており、防犯カメラの設置も件数減少に一定の寄与をしているものと推測する。 防犯カメラの設置効果の検証を図るなかで、今後の設置箇所や設置台数の見直しを絶えず行っていくことが課題であると考える。
取組に対する 事業の評価	A A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	今後は地域の要望や、犯罪情勢にあわせて検討していく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**防犯カメラ、防犯灯、街路灯等の整備など危険場所のチェックと環境改善に取り組みます**	
担当室課	**道路室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目		数値等	
	街路灯(防犯灯)の維持補修による適切な照度確保		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	21,237灯	21,338灯	21,476灯	21,540灯
実績値における前年度からの増減理由	地下道等における蛍光灯からLED照明への更新			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 蛍光灯などの既設照明からLED照明の更新をさらに実施した。			
	(取組の効果と課題) LED照明の更新を行ったことにより夜間の適切な照度、器具の長寿命化を確保し、安心・安全な暮らしを提供した。しかしながら、経年劣化が原因と考えられる不具合のある器具本体(LED照明)やセンサーが発生している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	不具合を発生した器具等の交換を早期に実施することにより安心・安全な環境を持続して提供する。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目		数値等	
	気持ちを言葉で伝え合う機会を大切にする		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–
実績値における前年度からの増減理由				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 教育保育の中で、各発達段階に応じて教材を使用し、人権教育の中で暴力での解決方法ではなく自身も友達も大切にできる関係づくりを伝えている。			
	(取組の効果と課題) 繰返し児童へは伝えていくことが重要。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も、言葉で相手に気持ちを伝え、やりとりをする力を育めるよう、全職員の意識や指導法の学びを深める。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**			
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**			
取組の具体的内容	**幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます**				
担当室課	**学校教育室**			**計画推進の指標番号**	
目標	項目		数値等		
	生徒指導主事会・学警連絡会		年間10回以上		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	11回	11回	11回	11回	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 小・中学校の生徒指導主事・主担者、教育委員会担当指導主事、スクールソーシャルワーカースーパーバイザーや、吹田補導地区吹田少年補導協助員、警察、茨木少年サポートセンター、子ども家庭センターなどの関係諸機関が参加し、いじめや暴力、虐待の早期発見や早期対応、未然防止を目的として、各学校で生起している様々な事案について情報共有し、研究協議を行った。また、他校の生徒指導主事・主担者同士での交流を設け、各学校での現状や課題、対応に苦慮している事案、校内の取組等の好事例を共有し、資質能力の向上に努めた。				
	(取組の効果と課題) 事案の現状と傾向について、より広い視野での情報を共有をすることで、各学校及び教育委員会とそれぞれの関係諸機関が連携し、問題行動の未然防止、問題行動を起こした児童・生徒への指導・支援、家庭環境の改善等、地域で一貫した取組を行い、早期発見、早期対応、未然防止を進めていくことができている。 今後は、生徒指導主事・主担者が得た情報を、校内で発信する場を設定する必要があると考える。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**			
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**			
取組の具体的内容	**家庭や学校などにおいて、ソーシャルスキルトレーニング(社会で生活するための力、コミュニケーション力)を実施するための啓発に努めます**				
担当室課	**学校教育室**			**計画推進の指標番号**	
目標	項目		数値等		
	全中学校ブロックへのSSW(スクールソーシャルワーカー)配置時間		週20時間		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	週20時間 年43週	週20時間 年43週	週20時間 年43週	週20時間 年43週	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 全18中学校ブロックにSSWを週20時間配置し、いじめ、不登校、虐待等の生徒指導上の諸課題に対して、福祉的な支援を実施した。各校の会議に参画し、関係機関との連携を通じて、支援の充実を図った。また、SSWが講師として各校のニーズに合わせたテーマで校内研修を行った。				
	(取組の効果と課題) SSWが派遣されることにより、生徒指導上の諸課題に対して、組織的な対応を可能とする学校体制の構築や、福祉的視点の浸透に寄与した。しかしながら、多様な背景を抱える児童・生徒のアセスメントを行うためのケース会議の充実を図ることが課題となっているほか、安定的な人材確保が引き続き課題である。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**保育教諭や教職員等を対象にした研修会を通じて、暴力根絶のための意識啓発を図ります**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	虐待の未然防止、早期発見の意識向上	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 保育教諭等、全職員に対して、児童虐待についての研修を実施し学ぶ機会を設けた。
	(取組の効果と課題) 保育教諭等、全職員に対して、児童虐待についての研修を実施し足り、園内研修などで学ぶ機会を設けた。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	室主催の研修の他にも、各園でガイドラインなどを活用して、虐待防止の意識を高めた。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**保育教諭や教職員等を対象にした研修会を通じて、暴力根絶のための意識啓発を図ります**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	SSW(スクールソーシャルワーカー)担当者会	3回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3回	3回	3回	3回

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 学期ごとにSSW担当者会を開催し、SSWの役割や活用方法についての情報共有を行うとともに、実務的な課題に関する意見交換や研修を実施した。
	(取組の効果と課題) 各校でのSSWの効果的な活用に資するとともに、担当者間の連携強化に寄与した。今後は、子どもを取り巻く課題(不登校・虐待・貧困等)への横断的対応についても研修内容に組み込んでいくことや生徒指導担当者会等とリンクしたテーマで実施していく。またその中で中学校ブロックの交流の機会を増やす必要がある。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**保護者対象に体罰によらない育児について啓発します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	対象講座延べ受講者数	100人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	104人	140人	63人	60人

実績値における前年度からの増減理由	講座の受講者数が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) たたかず、甘やかさずに子育てをする方法を学ぶ「スター・ペアレンティング講座」を実施した。 なお、目標設定時と異なり、のびのび子育てプラザでの開催分については、令和6年度以降、男女共同参画センターとの共催ではなくなったため、目標値の半分を令和6年度以降の目標値としている。
	(取組の効果と課題) グループワーク(受講者同士の意見交換)を取り入れ、交流しながら学ぶことができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市の子育て支援に関する情報提供も行っていく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**1**	**暴力の根絶のための意識啓発と環境整備**
取組の具体的内容	**保護者対象に体罰によらない育児について啓発します**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	体罰によらない育児の啓発	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 参観や懇談会等の場において、暴力を許さない子育てについての推進を図った。 保護者と丁寧に話し、家庭の子育ての様子を把握し、個々に応じた支援を行うよう努めた。
	(取組の効果と課題) 保護者の思いに寄り添いながら、サポートできるように他機関との連携をはかり、多角的にアプローチすることが必要。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も、他機関との連携を深め、環境整備に努め、保護者に寄り添いながらサポートをしていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備
取組の具体的内容	保護者を対象に体罰によらない育児について啓発します	
担当室課	家庭児童相談室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	親支援プログラム受講者で有効性が認められた参加者の割合	80%以上

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	90.0%	80.0%	92.2%	87.0%

実績値における前年度からの増減理由	プログラム受講により得るものはあったもののニーズには合わなかった受講者がいたことで、前年度から若干の低下がみられた。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 子育てに困っている保護者を対象に、子育てのスキルや問題解決力の向上を目的とした講座を、令和6年度では1講座7回のコースを平日に2コースと、1講座2回のコースを休日に2回実施したが、令和7年度では、従来の平日での2コースに加え、土曜日に1講座7回のコースを1回実施し、平日での参加が難しい保護者についても、グループディスカッションや個別フォローの受講の機会を確保し、児童虐待防止、予防の機会の拡大を図った。 (取組の効果と課題) 約90%の参加者に講座の有効性が認められ、保護者の子育てに対する不安や負担感が改善された。平日以外でも同様の講座開催を求める声を受けての開催で、より多くの保護者が同講座を受ける機会を持つことができ、児童虐待防止や予防につながったと考えられる。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	受講者の多くに高い有効性が感じられており、引続き同講座を開催し、児童虐待防止、予防に取り組む必要がある。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備
取組の具体的内容	保護者対象に体罰によらない育児について啓発します	
担当室課	すこやか親子室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	こども家庭庁作成の児童虐待防止リーフレット配布	100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 1歳6か月児健康診査健診票の郵送時に、こども家庭庁作成の児童虐待防止のリーフレットを同封し、全ての健診対象者に啓発を実施。 (取組の効果と課題) 乳幼児健診における「すこやか親子21アンケート」の虐待項目に該当があった保護者に状況確認し、相談や指導を実施。虐待事実(疑い含む)を把握した場合は、家庭児童相談室と連携して対応している。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、啓発及び必要な支援を実施。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	2	性犯罪・性暴力防止対策の推進
取組の具体的内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します	
担当室課	人権政策室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	性犯罪・性暴力相談窓口の周知	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 4月の「若年層の性暴力被害予防月間」及び11月の「女性に対する暴力をなくす運動期間」に、ホームページ、SNS及びデジタルサイネージ等を活用し、主に若者に向けて性暴力被害予防に関する啓発活動を行うとともに、大学を通じて学生へ相談窓口を周知した。 (取組の効果と課題) SNS等の若年層に届きやすい広報媒体を活用して、効果的な啓発を行うことができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も様々な媒体・機会を捉え、性犯罪・性暴力に関しての相談窓口を周知していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	2	性犯罪・性暴力防止対策の推進
取組の具体的内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します	
担当室課	男女共同参画センター	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	ホームページでの周知を行う	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) スタジアムフェスタで相談先を掲載したティッシュを配布するなど、広く情報提供した。また、学校でのデートDV予防啓発出前授業において、相談先等の情報提供を実施した。 (取組の効果と課題) 常に、周知している情報が最新のものであるかどうかを確認する必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、人権政策室と連携しながら情報共有を行っていく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**			
主な取組	**3**	**ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進**			
取組の具体的内容	**安心して働ける職場環境の実現のため、事業所に対してハラスメント防止対策ガイドラインの策定の支援や啓発を行います**				
担当室課	**地域経済振興室**			**計画推進の指標番号**	**10・11**
目標	項目		数値等		
	セミナーの開催		1回		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	みんなで学ぶワークルールセミナー「職場におけるパワーハラスメント」参加者8名	みんなで学ぶワークルールセミナー「職場におけるハラスメント」参加者14名	「争いのない職場には人が集まり、辞める人も少ない」参加者22名	開催なし。	
実績値における前年度からの増減理由	主催する三島地域労働施策実行委員会(高槻市、茨木市、摂津市、島本町、吹田市)が、令和6年度末で解散となったため。				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 三島地域労働施策実行委員会(高槻市、茨木市、摂津市、島本町、吹田市)は令和6年度末で解散となったことから、ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進については他の手法で実施していく。				
	(取組の効果と課題) ハラスメント防止に係る情報について、事業所における雇用主及び労働者に対して、多様な媒体で情報提供・啓発をすることが重要であるため、今後も啓発に取り組んでいく。				
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、各種機会を通じて啓発や情報提供を実施していく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**			
主な取組	**3**	**ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進**			
取組の具体的内容	**市職員への周知徹底を図るとともに、研修や苦情処理制度の充実を図ります**				
担当室課	**人事室**			**計画推進の指標番号**	**11**
目標	項目		数値等		
	研修開催回数		1回/年度		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	1回	1回	2回	2回	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 部長級・次長級職員対象「ハラスメント防止研修」及び主査級職員対象「コンプライアンス・ハラスメント研修」を各1回、計2回実施した。また、ハラスメントアンケートについて様式の見直しを行い、複数設置しているハラスメント相談窓口の相談員間で連携会議を行った。				
	(取組の効果と課題) 引き続きハラスメント防止に関する研修を実施し、働きやすい職場づくりを進めていく。また、ハラスメントアンケートの周知徹底により、職場の実態把握に効果があった。引き続き、ハラスメント防止の意識啓発、相談窓口の周知等を行うことで、ハラスメントのない職場環境づくりに対する職員一人ひとりの意識向上を図る。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら、引き続き、周知や研修等を実施する。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**3**	**ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進**
取組の具体的内容	**市職員への周知徹底を図るとともに、研修や苦情処理制度の充実を図ります**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号** **11**

目標	項目	数値等
	市職員からのハラスメント相談件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	0件	0件	0件

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) ハラスメント相談員連携会議において情報共有を行った。複数設置されている相談窓口のうち、人権政策室へのハラスメント相談はなかった。
	(取組の効果と課題) ここ数年間は相談事例がないため、相談に対応する職員の知識・経験不足が懸念される。
取組に対する 事業の評価	B A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	研修等に参加することでスキルを習得し、相談があった場合は適切に対応する。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**
主な取組	**3**	**ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進**
取組の具体的内容	**教職員に対して、「吹田市立学校におけるハラスメントの防止及び対応に関する指針」に基づき対応し、研修を行い啓発を推進します**	
担当室課	**教職員課**	**計画推進の指標番号** **11**

目標	項目	数値等
	各種ハラスメントに対する教職員の意識向上と相談体制の充実	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) ・令和4年5月に改訂した市各種ハラスメントの防止及び対応に関する指針を活用し、ハラスメントに対する意識向上と、相談体制の充実に取り組んだ。 ・各種ハラスメントに関する管理職研修の実施や不祥事防止に関する資料を基にした綱紀保持に関する積極的な注意喚起に取り組んだ。 ・令和6年度に実施した、「職場における教職員間のハラスメントに係る実態調査アンケート」の結果を踏まえ、教育センターと連携し、管理職対象のハラスメント対応研修を実施した。
	(取組の効果と課題) ・各校では校内相談窓口を設置し、指針をもとに、ハラスメントに対する意識の向上、相談体制の充実に取り組んでいる。また、当課から発出した資料を活用し、校内研修を実施するなど、未然防止と組織的な対応を行っている。 ・アンケートの実施により、ハラスメントの実態把握ができ、ハラスメントの未然防止や早期発見のための方策を講じる手立てとなった。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、市各種ハラスメントの指針に基づき、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止体制の整備と啓発の推進に努める。また、「職場における教職員間のハラスメント実態把握アンケート」の結果を踏まえ、管理職や教職員への研修を実施する等、働きやすい環境づくりを目指して、ハラスメントの予防・解決に向けた取組みを推進する。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進
取組の具体的内容	教職員に対して、「吹田市立学校におけるハラスメントの防止及び対応に関する指針」に基づき対応し、研修を行い啓発を推進します	
担当室課	教育センター	計画推進の指標番号 11

目標	項目	数値等
	研修内容に対する肯定的評価率	（とても良い、良い） 100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） ハラスメント根絶のための意識啓発と環境整備に係る研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。
	（取組の効果と課題） ハラスメント根絶に関する研修は、初任者研修や経験の少ない教職員対象の研修及び教育課題別研修において、グループワークやロールプレイなど体験的に学ぶことや不祥事を起こさないためリスクマネジメントなどの学びを通して、子供理解に関する内容に関連付けて、自身の言動が意図せず誰かを傷つけてしまっていないかやハラスメントとなっていないかなど自己の振り返りや意識啓発を行った。
取組に対する事業の評価	A A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進
取組の具体的内容	消防職員に対して、「吹田市消防職員パワーハラスメント防止に関する指針」を周知徹底するとともに、ハラスメントに関する研修を実施します	
担当室課	企画総務室	計画推進の指標番号 11

目標	項目	数値等
	ハラスメントの撲滅	0件

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	0件	0件	0件

実績値における前年度からの増減理由	職員からハラスメントに関する相談を受けたが、認定には至らなかったため。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 幹部を中心に風通しのよい職場づくりを心掛け、令和7年度は採用8年目までの職員を対象に「上司や先輩との世代間コミュニケーション」に関する研修をおこない、世代間ギャップや考え方の違い等を理解し、コミュニケーションの取り方等を十分に考える場を設けた。
	（取組の効果と課題） ハラスメントの撲滅について対象者や内容を変えながら継続して研修等を行ってきたが、ハラスメントに関する相談があったため、今後改めて全職員がハラスメントに対する考え方等を見直していかなければいけないと感じた。
取組に対する事業の評価	B A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	ハラスメントの防止について通知を出し、全職員対象に動画研修を実施する等ハラスメントの撲滅について周知徹底していく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**			
主な取組	**3**	**ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進**			
取組の具体的内容	**子供が安心して暮らせる環境の実現のため、小・中学生が相談できる窓口(学校内・学校外)を充実します**				
担当室課	**教育センター**			**計画推進の指標番号**	**11**
目標	項目		数値等		
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率		100%		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	100.0%	100.0%	100.0%	93.4%	
実績値における 前年度からの増減理由	ペーパーレス化及び、より多くの人に周知することを目的として、チラシの配布からデータでの配信やホームページを活用した周知への変更を行ったため。				
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 小・中学生が相談できる窓口として、教育センターでの来所相談や電話相談、市立小学校での出張教育相談、市立小・中学校でのスクールカウンセラーへの相談を実施しており、その周知を行っている。				
	(取組の効果と課題) 相談窓口の周知について、市立小・中学校の保護者に対して連絡網アプリよる配信を実施し、ホームページの情報の整理を行った。				
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	相談窓口の周知について、プッシュ型の支援を進めるため、チラシの配布・配架によらずさまざまな媒体を活用した配信を検討していく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**1**	**暴力やハラスメント根絶の基盤づくり**			
主な取組	**3**	**ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進**			
取組の具体的内容	**安心して働ける職場環境の実現のため、市職員や事業所等におけるこころの健康(メンタルヘルス)のための取組を推進します**				
担当室課	**人事室**			**計画推進の指標番号**	**10・11**
目標	項目		数値等		
	セルフケア研修 ラインケア研修		セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象/年) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象/年)		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) セルフケア研修は新規採用職員対象と全職員を対象としたものを行った。 ラインケア研修は新任主査級対象と新任課長級・課長代理級を対象としたものを行った。 セルフケア研修では自身のメンタルケアの重要性を伝え、具体的な取り組みの例などを提示している。ラインケア研修においても、まずは自身のメンタルケアが大事であることを伝えたうえで、部下への関わり方で気を付ける点などを伝える内容とした。				
	(取組の効果と課題) 研修後のアンケートでは、研修内容の理解度は高く、実践していきたいとの声が多数あった。 一方で、産業医面談等で職場の対人関係等についての相談を受けることもあるため、そうした悩みが所属内で相談できるようにしていく必要性がある。そのためにも今後も継続して対象別の研修を行い、職場の環境改善に向けた取り組みを行っていく。				
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き職員のメンタルヘルスに関する取組を進めていく。				

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進
取組の具体的内容	安心して働ける職場環境の実現のため、市職員や事業所等におけるこころの健康(メンタルヘルス)のための取組を推進します	
担当室課	地域経済振興室	計画推進の指標番号 10・11

目標	項目	数値等
	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 市HPにおいて、メンタルヘルスの対策に関する情報を掲載。
	(取組の効果と課題) メンタルヘルス対策における課題の把握や、具体的な取組方法について検討していくことは重要であり、今後も継続した啓発活動を実施していく。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きメンタルヘルス対策に関する情報提供を実施していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進
取組の具体的内容	DVを防止するための講座などを開催します	
担当室課	男女共同参画センター	計画推進の指標番号 12・14

目標	項目	数値等
	対象講座延べ受講者数	80人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	142人	88人	93人	84人

実績値における前年度からの増減理由	講演会等の受講者が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 自分を大切にするための人とのほどよい距離感やコミュニケーションをテーマにした講演会を開催した。 また、「男性の生きづらさ」についての講座を開催し、その中で、男性が被害者になるケースについても学んだ。
	(取組の効果と課題) 自分の行動や言動が暴力となっていないか考える機会を提供できた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	多くの人が関心のあるテーマに関する講演会を引き続き企画していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進
取組の具体的内容	パンフレット、ホームページ、SNSなどを活用し、すいたストップDVステーション(DV相談室)等相談窓口の周知に努めます	
担当室課	すいたストップDVステーション	計画推進の指標番号 12・14

目標	項目	数値等
	啓発冊子等の発行部数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	すいたストップDVステーション 啓発用パンフレット5,000部 Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	すいたストップDVステーション 啓発用パンフレット5,000部 Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚 しおり10,000部	すいたストップDVステーション 啓発用パンフレット5,000部 Wリボンプロジェクトチラシ 9,000枚

実績値における前年度からの増減理由	Wリボンのしおりは在庫によって数年に一度発注しているため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。イベントでWリボンプロジェクトのチラシを配布し、相談窓口の周知を行った。
	(取組の効果と課題) 相談窓口を広く周知することにより、DV被害者の早期の支援につなげている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	様々な媒体を通じて、すいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口の周知、DV防止に向けた啓発を実施していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進
取組の具体的内容	パンフレット、ホームページ、SNSなどを活用し、すいたストップDVステーション(DV相談室)等相談窓口の周知に努めます	
担当室課	男女共同参画センター	計画推進の指標番号 12・14

目標	項目	数値等
	ホームページにて常時周知を行う	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ホームページやSNSで相談窓口の案内をしている。また、すいたストップDVステーションなどと連携して相談先の電話番号が入ったティッシュ等を配布し、啓発に努めた。
	(取組の効果と課題) ホームページやSNSを見て相談につながるケースがあるので、被害者救済に効果的である。また啓発グッズは、配布場所やターゲットを想定しながら作成し、効果的に周知することを心掛ける。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も必要としている方に情報が届くよう周知に努める。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**1**	**DV防止に向けた啓発の推進**			
取組の具体的内容	**若年層に向けたデートDV予防啓発を推進します**				
担当室課	**男女共同参画センター**			**計画推進の指標番号**	**13・14**
目標	項目		数値等		
	出前授業実施校数		市内の全市立中学校（18校）		
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	11校	14校	11校	13校	
実績値における前年度からの増減理由	実施を希望する校数が増えたため。				
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 大学生ユースリーダー及び外部講師とともに、デートDV予防啓発出前授業を市内中学校13校（15学年）で実施した。出前授業を実施しなかった中学校でも、同等の内容を学ぶ授業を行っている学校があった。 また、高校生、大学生向けのデートDV予防啓発出前授業も実施した。				
	（取組の効果と課題） 若年層への啓発はDVだけではなくいじめやハラスメント防止の観点からも好評であり、今後も実施校数を増やしていくため、引き続き中学校と連携して授業を行う。				
取組に対する事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	市内の全中学校の生徒がデートDVについて学ぶ機会を得られるよう、学校と連携して取り組む。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**1**	**DV防止に向けた啓発の推進**			
取組の具体的内容	**「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます**				
担当室課	**人権政策室**			**計画推進の指標番号**	**12・14**
目標	項目		数値等		
	Wリボンマークの周知		設定なし		
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	－	－	－	－	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 市所有公用車にWリボンマグネットを貼付している他、市内郵便局との包括連携協定により集配車両にもWリボンマグネットを貼付するなどし、市民に広く周知した。 また、スタジアムフェスタに出展し、Wリボンマークの趣旨とWリボンプロジェクトの活動について参加者に周知した。				
	（取組の効果と課題） 多くの市民の目に留まる場で啓発活動を行うことで、Wリボンマークを広く周知することができた。				
取組に対する事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	今後も様々な機会を捉え、Wリボンマークの普及に努める。				

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます	
担当室課	家庭児童相談室	計画推進の指標番号 12・14

目標	項目	数値等
	市民向け講演会の参加者数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	16人	53人	36人	49人

実績値における前年度からの増減理由	困りごとを抱えやすいテーマの講座であったことが影響していると考えられる。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待防止推進月間において、児童虐待防止と、女性・子供に対する暴力の根絶とをシンボルとするWリボンを旗印に、児童虐待防止に関するテーマでの市民向けの講演会を開催し、児童虐待防止に関する啓発活動を行った。 令和7年度は、スマートフォンの使用をめぐる親と子の対立が引き金となって児童虐待につながることもあり、「これって依存症？こどものスマホ・ゲーム　～親はどう向き合うか～」をテーマとした。
	(取組の効果と課題) 市民に対し児童虐待防止への意識の醸成を図るとともに、児童虐待につながりやすい要因をテーマとして講演会を開催し、児童虐待防止、予防につなげることができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引続き児童虐待防止推進月間においてWリボンを旗印とした児童虐待防止に関する取り組みを行う必要がある。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます	
担当室課	男女共同参画センター	計画推進の指標番号 12・14

目標	項目	数値等
	Wリボンバッジの販売	常時

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) Wリボンバッジ(通常バージョン、すいたんバージョン)を販売し、W(ダブル)リボンマークの普及に努めている。また、児童部と連携して講演会や講座、啓発活動を集中的に行う「Wリボンプロジェクトinすいた」を11月に実施した。
	(取組の効果と課題) SNSや市報等における周知において、市民の目につきやすい方法を検討する。 関連講座については、テーマが重くなりすぎず、市民が自分事として考えてもらえるような内容のものを企画する。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	多くの人に啓発できるよう継続して取り組んでいく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	2	相談体制の整備充実
取組の具体的内容	研修等を通じて、相談員のスキルアップの向上に努め、配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション」の相談体制の充実を図ります	
担当室課	すいたストップDVステーション	計画推進の指標番号 12・14

目標	項目	数値等
	研修、連絡会への参加	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	会場参加研修　9回 オンライン研修　1回 府内DV会議出席　3回	会場参加研修　9回 オンライン研修　1回 府内DV会議出席　3回	会場参加研修　7回 府内DV会議出席　3回	会場参加研修　4回 オンライン研修　1回 府内DV会議出席　3回

実績値における前年度からの増減理由	令和7年度は人事異動がなく、初任者研修には参加しなかったため、会場参加研修の参加回数は減少した。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 大阪府が実施する研修に参加し、相談員のスキルアップに努めた。また、府内の市町村が出席する連絡会議において、半期ごとに課題を出し合い、他市町村の相談体制やDV防止の取組について意見交換を行った。
	(取組の効果と課題) 研修で学んだ内容を生かして相談業務にあたっている。大阪府や他市町村との交流が図られていることで、困難事例や制度改正等の対応について、情報交換を行いやすい関係が構築されている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も研修や連絡会議に積極的に参加し、DV被害者支援に生かしていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	2	相談体制の整備充実
取組の具体的内容	DV相談担当者や各室課の窓口対応者への研修の実施及び弁護士・警察等との連携の強化に取り組みます	
担当室課	人権政策室	計画推進の指標番号 14

目標	項目	数値等
	DV防止ネットワーク会議の開催回数	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 弁護士や警察など、関係機関が参加する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会において弁護士による研修を行い、情報を共有した。実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。
	(取組の効果と課題) 関係機関の間で情報共有ができていることで、DV被害者への対応もスムーズにできている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後とも関係機関との間で連携を深めたい。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**2**	**相談体制の整備充実**
取組の具体的内容	**日本語が話せない相談者のために通訳等の適切なサポートを行います**	
担当室課	**文化スポーツ推進室**	**計画推進の指標番号** **14**

目標	項目	数値等
	行政通訳窓口同行	100件

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	104件	103件	115件	195件

実績値における前年度からの増減理由	外国籍市民数は近年増加傾向であり、市内小・中学校からの通訳依頼が増加していることから、令和6年度と比較して令和7年度の件数が増加している。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・リーフレットやホームページで再度関係機関へも広く周知した。また、行政通訳同行業務通訳ボランティア養成講座を実施し、中国語と希少言語のボランティアの新規登録を行った。中国語の依頼については令和6年度から倍増したが、新規登録を行ったことで対応することができた。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・リーフレットやホームページで再度関係機関へも広く周知した。また、相談員を対象とした研修を実施した。
	(取組の効果と課題) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・職員と外国籍市民等(利用者)との意思疎通が正確かつ円滑に行われることにより、利用者が公平なサービスを受けることができた。 ・近年需要が高まっているインドネシア語、ネパール語などに対応できるボランティアを増やす必要がある。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・相談内容より、適切な機関へとスムーズにつなぐことができた。 ・庁内に対する相談センターへの周知が十分とは言えないため、引き続き周知を行っていく必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、継続する。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**2**	**相談体制の整備充実**
取組の具体的内容	**相談事例から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます。また、被害者支援に関わる相談員等の意見交換の場を設けます**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	DV防止ネットワーク会議の開催回数	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 庁内外の関係機関が参加する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会において弁護士による研修を行い、情報を共有した。実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。
	(取組の効果と課題) 事例報告や事例検討、意見交換を行うことで、被害者支援に関わる相談員のスキルアップにつながっている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引続き相談員のスキルアップを図りながら相談者の支援につなげていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	2	相談体制の整備充実
取組の具体的内容	相談事例から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます。また、被害者支援に関わる相談員等の意見交換の場を設けます	
担当室課	男女共同参画センター	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	相談事業担当者連絡会議の実施	年2回開催

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	2回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 相談事業の担当者連絡会議を年度内に2回行い、相談員同士の情報共有を図った。
	(取組の効果と課題) 日々の細かな情報共有は担当職員と相談員間で行っている。また、年2回、全員が顔を合わせて会議を行うことにより、相談内容の傾向についてやケース検討などの討論を深め、よりよい相談対応につなげている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も定期的に相談事業担当者連絡会議を行い、相談事業の充実を図っていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	2	相談体制の整備充実
取組の具体的内容	相談窓口について、民生委員・児童委員への情報提供、周知を図ります	
担当室課	福祉総務室	計画推進の指標番号 12・14

目標	項目	数値等
	民生委員・児童委員の新任研修受講率	100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

実績値における前年度からの増減理由	民生委員・児童委員の新任研修欠席者に対しても、後日個別に研修内容を説明するなど、活動に必要な情報を提供している。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 民生委員・児童委員に対し、新任研修等の機会をとらえて、DV相談窓口を含めた福祉サービス全般の相談体制に関する情報提供を行った。また、吹田市民生・児童委員協議会の児童部会にて、毎年11月に定められている「児童虐待防止啓発月間」にあわせて配布するPR用のポケットカバー付き付箋を作成した。ポケットカバーのデザインについて、オレンジリボンと「ひとりでなやんでいませんか？」という文言を添え民生委員・児童委員を啓発した。
	(取組の効果と課題) 民生委員・児童委員が要支援者の相談に対し、DV等の相談窓口に適切につなぐことができるよう、定期的に情報提供を行う必要がある。令和7年度はPR用ポケットカバー付き付箋を配布したが、令和8年度の啓発物品についても、しっかりと手に取ってもらえるような物品を委員の意見も聞きつつ検討する必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、民生委員・児童委員に対し相談体制に関する情報提供・周知を行う。また、市民に対し相談窓口を周知する取組を行う。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**2**	**相談体制の整備充実**			
取組の具体的内容	**高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります**				
担当室課	**人権政策室**			**計画推進の指標番号**	**14**
目標	項目		数値等		
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		（代表者会）1回 （実務担当者会議）1回		
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	（代表者会）1回 （実務担当者会議）1回	（代表者会）1回 （実務担当者会議）1回	（代表者会）1回 （実務担当者会議）1回	（代表者会）1回 （実務担当者会議）1回	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和7年度の 取組状況	（取組の実施状況） 庁内外の関係機関が参加する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会において弁護士による研修を行い、情報を共有した。実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。				
	（取組の効果と課題） 関係機関の間で情報共有ができていることで、DV被害者への対応もスムーズにできている。				
取組に対する 事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	今後とも関係機関との間で連携を深めたい。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**2**	**相談体制の整備充実**			
取組の具体的内容	**高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります**				
担当室課	**障がい福祉室**			**計画推進の指標番号**	**14**
目標	項目		数値等		
	虐待防止に係る相談体制の構築		設定なし		
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	－	－	－	－	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和7年度の 取組状況	（取組の実施状況） 障がい者等への虐待防止の取組において、児童、高齢者にかかる複合的な課題が含まれている場合などは、関係部署、関係機関と情報共有を行い、連携して対応している。令和7年度からは重層的支援体制整備事業についても活用している。				
	（取組の効果と課題） 障がい者、児童、高齢者の虐待対応に関しては虐待者と被虐待者の状況等を鑑み、重層的に支援し、多機関が連携しながら対応する必要がある。				
取組に対する 事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	引き続き、関係部署、関係機関との連携強化に努める。				

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	2	相談体制の整備充実
取組の具体的内容	高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります	
担当室課	高齢福祉室	計画推進の指標番号 14

目標	項目	数値等
	支援の当初からすいたストップDVステーションの他、庁内関係部署や関係機関と情報共有のうえ役割分担して連携する。	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 65歳以上の高齢者に関する虐待の相談については、原則として地域包括支援センターが支援を行っているが、介護等の必要のない高齢者に関するDV対応については、すいたストップDVステーションと連携して支援を行った。
	(取組の効果と課題) 支援の当初からすいたストップDVステーションの他、庁内関係部署や関係機関と情報共有のうえ役割分担して連携することによって、迅速かつ効果的な支援につなげた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、庁内関係部署や関係機関との連携を強化する。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	2	相談体制の整備充実
取組の具体的内容	大阪府・他市町村との連携を強化し、情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図り、相談体制の充実に努めます	
担当室課	人権政策室	計画推進の指標番号 14

目標	項目	数値等
	大阪府等が実施する連絡会への参加	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 府内の市町村が参加する連絡会議の場で、大阪府や他市町村と情報交換や事例検討を行った。
	(取組の効果と課題) 大阪府・他市町村と情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図ることができた。 情報共有を行うことにより、スムーズな連携体制を構築することが出来ている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き大阪府及び他市町村と連携し、スムーズな被害者の支援につなげたい。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**2**	**相談体制の整備充実**			
取組の具体的内容	**大阪府・他市町村との連携を強化し、情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図り、相談体制の充実に努めます**				
担当室課	**男女共同参画センター**			**計画推進の指標番号**	**14**
目標	項目		数値等		
	必要に応じて大阪府・他市町村と連携を行う		設定なし		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	連携ケースなし	連携ケースなし	連携ケースなし	連携ケースなし	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 共有すべき大阪府・他市町村からの情報は相談員に周知している。具体的な連携を行うケースは現状では発生していないが、必要に応じて対応していく。				
	(取組の効果と課題) 相談員に府の相談機関等を周知することで、相談者に対して適切な情報を伝えることができている。				
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	具体的な連携を行った相談ケースは無いが、引き続き情報共有の連携は続けていく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**3**	**児童虐待防止対策との連携強化**			
取組の具体的内容	**DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます**				
担当室課	**人権政策室**			**計画推進の指標番号**	**14**
目標	項目		数値等		
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 庁内外の関係機関が参加する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会において弁護士による研修を行い、情報を共有した。実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。				
	(取組の効果と課題) 関係機関の間で情報共有ができていることで、DV被害者への対応もスムーズにできている。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後とも関係機関との間で連携を深めたい。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**3**	**児童虐待防止対策との連携強化**
取組の具体的内容	**DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **14**

目標	項目		数値等	
	関係部署との連携		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) DV防止ネットワーク会議の代表者会と実務担当者会に参加し、関係部署との連携を図っている。 また、日々の相談業務内で、連携の必要な案件があれば、案件ごとに直接関係部署に連絡し、情報共有し、連携を図っている。			
	(取組の効果と課題) DV防止ネットワーク会議に参加することにより、幅広い情報を得ながら連携を図り、個別の案件の対応にも生かしている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も、DV防止ネットワーク会議等で関係部署との連携を図っていく。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**3**	**児童虐待防止対策との連携強化**
取組の具体的内容	**DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます**	
担当室課	**家庭児童相談室**	**計画推進の指標番号** **14**

目標	項目		数値等	
	吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の開催数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	代表者会議　1回 全実務者会議　1回、研修　2回 実務者会議　24回	代表者会議　1回 全実務者会議・研修　各1回 実務者会議　24回	児童虐待防止ネットワーク会議 ・代表者会議　1回 ・実務者会議　39回 ・個別ケース検討会議　83回	児童虐待防止ネットワーク会議 ・代表者会議　1回 ・実務者会議　39回 ・個別ケース検討会議　78回
実績値における前年度からの増減理由	個別ケース検討会議を必要とする機会が前年度より減少したため。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待を含む家庭児童相談について、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に関係機関と連携して、情報や支援方針を共有しながら支援を行った。			
	(取組の効果と課題) 代表者会議や実務者会議等を通して、関係機関との情報共有を行うなど連携強化を図り、対応した。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関との連携強化に努める。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**3**	**児童虐待防止対策との連携強化**			
取組の具体的内容	**関係機関の効果的な連携を可能にする児童虐待防止ネットワークの体制強化のため、研修などを実施します**				
担当室課	**家庭児童相談室**			**計画推進の指標番号**	**14**
目標	項目		数値等		
	実務者を対象にした研修の開催件数		設定なし		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	2件	1件	1件	1件	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 関係機関の効果的な連携を可能にし児童虐待防止ネットワークの体制を強化するため、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の構成機関の全実務者を対象に研修を開催した。 令和7年度は、子供の声を聴く重要性の理解を目的とし「こどもまんなか社会　～こどもの気持ちを聴く力を身につけよう～」をテーマに研修を行った。				
	(取組の効果と課題) 例年1回開催する研修を通して、児童虐待防止ネットワーク会議の役割や、虐待を受けている児童について、児童の各所属先での見守り、支援、アセスメント等に資する考えやスキルを学ぶことができた。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	児童虐待に関する相談については、各関係機関が連携しながら迅速かつ適切に対応することが求められる。今後も引き続き、効果的な研修内容を検討しながら、研修会を通じ実務者の対応スキル向上に取り組む。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**			
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**			
取組の具体的内容	**相談者の個人情報保護及び支援者間の情報共有を徹底し、相談機関による二次被害を防止します**				
担当室課	**すいたストップDVステーション**			**計画推進の指標番号**	
目標	項目		数値等		
	DV相談における同行支援		設定なし		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	－	－	－	－	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 相談者の状況を聞き取り、支援を行う上で関係部署との連携が必要な場合は担当者に同席を求め、支援者間での情報共有に努めた。 また、相談者が他室課で必要な手続を行う際に、窓口への同行支援を積極的に行った。				
	(取組の効果と課題) 窓口への同行支援や関係部署が同席して相談にあたることで支援者間での情報共有を行うことができ、相談者の精神的負担を軽減できている。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も関係部署と連携して相談者の負担軽減に努める。				

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化
取組の具体的内容	相談者の個人情報保護及び支援者間の情報共有を徹底し、相談機関による二次被害を防止します	
担当室課	男女共同参画センター	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	相談者情報の適正管理	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 電話相談、悩み・DV相談、法律相談において、業務の手順を守り、相談記録等の管理を厳格に行っている。また、必要な関係機関との連携においては、個人情報の保護に留意しながら行っている。
	(取組の効果と課題) 必要に応じてすいたストップDVステーションや家庭児童相談室と連携を取ることがあるが、相談者の情報は適正に取り扱うことができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も個人情報の保護に留意しながら、相談者にとって最適な支援を行っていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます	
担当室課	すいたストップDVステーション	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	一時保護件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1件	3件	3件	1件

実績値における前年度からの増減理由	緊急的な一時保護を必要とする相談者が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 一時保護施設への入所に際しては、聞き取りシートやチェックシートを活用して一時保護施設への引継ぎがスムーズに行えるように対応した。避難にあたって必要な手続については関係室課と連携しワンストップで手続きを行うなど、相談者の負担を軽減するよう配慮した。
	(取組の効果と課題) 相談者の負担を軽減し、安全に避難ができる体制を整えることができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も緊急時に速やかに対応できるよう、チェックシート等のツールの充実を図る。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**緊急時における一時保護体制の充実に努めます**	
担当室課	**生活福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。	数値目標を設定できない

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	DV被害者の保護開始件数19	DV被害者の保護開始件数27	DV被害者の保護開始件数21	DV被害者の保護開始件数12

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**緊急時における一時保護体制の充実に努めます**	
担当室課	**障がい福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	緊急時における避難場所の確保	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 緊急時における避難場所の確保については、短期入所施設の提供や宿泊施設利用における予算を確保している。本人の希望や障がい状況、身体状況等に応じて入所先を探し、本人の安全確保を図っている。
	(取組の効果と課題) 障がい者の状態は、身体障がい、知的障がい、精神障がいにより大きく異なり、本人の状態に応じた安全確保先が必要である。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	本人の状況に応じ迅速に避難を実施し、安心・安全に過ごせるよう支援を行う。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます	
担当室課	高齢福祉室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業の利用件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	2件	2件	1件

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、事案があれば速やかに利用できるよう連携している。
	(取組の効果と課題) 高齢者虐待の内容に応じて高齢者の意思を尊重し、1件について安心安全な生活を送るための避難を講じ、自立を促進することができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	セーフティネット事業として、継続していく。 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、適切に活用していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化
取組の具体的内容	被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システム連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します	
担当室課	すいたストップDVステーション	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	支援措置の意見付与件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	62件	67件	63件	72件

実績値における前年度からの増減理由	支援措置の申出者が増加したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) DVを理由とする住民基本台帳閲覧制限の申出があった際は、市民室の担当者と同席して被害状況等の聞き取りを行い、支援措置のための意見付与を実施している。
	(取組の効果と課題) 支援措置のための意見付与を行うことでDV被害者の安全が確保されている。市民室の担当者と同席して聞き取りを行うことにより相談者の精神的負担を軽減することができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も被害状況等を丁寧に聞き取り、必要に応じて支援措置のための意見付与を行いDV被害者の安全確保に努める。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システム連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します**	
担当室課	**市民室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	支援措置(新規及び延長)申出件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	350件	386件	405件	515件

実績値における前年度からの増減理由	支援措置の継続申出及び新規申出件数(特に他市区町村受理分)が増加したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 住民基本台帳事務処理要領に基づき、制度の説明を丁寧に行い、申出者にとって本制度の必要性を理解してもらうことを心掛け、事業を実施した。また、支援措置対象者の管理方法について、従来のエクセルによる管理から住民記録システム内の支援措置管理台帳機能を活用する方法に移行し、事務処理を円滑に実施できるようになった。
	(取組の効果と課題) 必要な方に必要な情報提供を行い、制度の適正な運用に取り組んだ。ただし、継続の意思確認が取れない方も増加しており、適正な運用方法の構築が必要と考える。また、申出件数とともに相談件数、電話での問い合わせも併せて増加しており、支援措置に係る相談時間や事務処理が増大しているため、更なる体制の強化を図っていく必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	全国的にも支援措置制度に関する情報が一般的に周知され、本市の支援措置件数は増加傾向にある。一方で、SNSや漫画などに書かれた「正しいとは言えない内容」を信じて、単に誰でも「住所が知られないようにできる制度」と誤解され来庁されるケースも増加しており、着実に必要な方が利用できるよう制度説明等において市民室職員のスキルアップを図るとともに、関係各課・機関との連携を強化し、被害者保護に向け支援体制の充実を図っていく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図り、自立に向け支援します**	
担当室課	**すいたストップDVステーション**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	DV相談件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	651件	730件	732件	818件

実績値における前年度からの増減理由	相談者からの支援の申し出によるため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 相談内容を丁寧に聞き取り、それぞれの状況に応じて必要な情報の提供や支援を行った。
	(取組の効果と課題) 相談者それぞれの状況に応じた支援を適切に行うことができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も丁寧な聞き取りを心掛け、相談者のニーズに沿った支援に努める。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図り、自立に向け支援します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	傾聴カフェ及び傾聴電話の開催回数	24回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	24回	24回	24回	24回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 月に1回ずつ傾聴カフェと傾聴電話を開催し、男女共同参画センターの各種相談を補完する取組を行っている。また、必要に応じて関係機関との連携を図ることとしている。
	(取組の効果と課題) 傾聴カフェについては、利用者が定着してきている。一方、傾聴電話については、利用者が少なくニーズの把握が必要である。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	傾聴カフェの利用者を増やし、DV被害者等の潜在的な掘り起こしを図るとともに、状況把握やニーズをつかみ、自立への一助としたい。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します**	
担当室課	**生活福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。	数値目標を設定できない

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	DV被害者の保護開始件数19	DV被害者の保護開始件数27	DV被害者の保護開始件数21	DV被害者の保護開始件数12

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します**	
担当室課	**高齢福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目		数値等	
	地域の高齢者やその家族の総合相談窓口として迅速かつ適切なサービス提供につなげる。 地域包括支援センターの相談件数		令和6年度末　33,745件、 令和7年度末　36,230件（第9期計画目標）	
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	28,774件	31,724件	32,144件	34,133件

実績値における前年度からの増減理由	高齢者人口の増加に伴い地域包括支援センターへの相談件数が増加している。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 市内15か所の委託型地域包括支援センターが、地域の高齢者やその家族等の総合相談窓口として介護、健康、生活、在宅療養や認知症の相談に対応している。また、介護保険制度や高齢者在宅福祉サービスの申請について、地域に身近な受付窓口としての機能を担っている。
	（取組の効果と課題） 地域の高齢者やその家族等の身近な相談窓口として、サービス利用の相談から申請までをワンストップで受け付けることで迅速かつ適切なサービス提供につなげている。

取組に対する事業の評価	B	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	引き続き上記取組を継続する。	

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**	
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**	
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**	
取組の具体的内容	**福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します**		
担当室課	**障がい福祉室**	**計画推進の指標番号**	

目標	項目		数値等	
	被害者保護と自立支援の強化		設定なし	
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由		
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 本人の安心安全を確保しながら、希望する生活の実現、自立に繋がるように関係機関と連携しながら状況確認や支援の調整を行っている。	
	（取組の効果と課題） 本人の意思を尊重しながら、本人の状況に応じた迅速な対応が求められる。	
取組に対する事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	引き続き、本人の意思決定を尊重しながら、自立に向けた支援を行っていく。	

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します**	
担当室課	**国民健康保険課**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	被害者の社会保障及び保健の向上に寄与する。	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	対応件数 国民健康保険　18件 後期高齢者医療　4件	対応件数 国民健康保険　20件 後期高齢者医療　5件	対応件数 国民健康保険　19件 後期高齢者医療　11件	対応件数 国民健康保険　7件 後期高齢者医療　4件

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 被害者の社会保障及び保健の向上に寄与する。健康保険届出事務において、秘密保持を図るため、システム上に注意喚起フラグを立て、重要案件については加害者からの問い合わせ等への具体的対応方法を入力し、情報共有を図っている。
	(取組の効果と課題) 窓口担当、問い合わせを受けた担当者は必ずフラグの内容を確認し、DV等関連部署との情報連携を図ることができている。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、必要な情報の共有を実施する。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**経済的な自立に向けた就労支援を充実します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	就労支援講座を開催	2種類以上

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①調剤事務講座:8名 ②介護職員初任者研修:6名 ③ビジネスパソコン講座:15名	①CAD利用技術者:2名 ②介護職員初任者研修:8名 ③ビジネスパソコン講座:14名	①CAD利用技術者:3名 ②介護職員初任者研修:6名 ③ビジネスパソコン講座:25名	①ITパスポート対策講座:26名 ②介護職員初任者研修:7名 ③ビジネスパソコン講座:9名

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身につけるための就職支援講座を実施。
	(取組の効果と課題) DV被害者のみに限らず、様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身に付けることで経済的自立に直接的に結びつく事業として有益であると考える。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き就労支援講座を実施していく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**離婚前相談を実施し、ひとり親世帯等への自立支援を充実します**	
担当室課	**子育て給付課**	**計画推進の指標番号**

目標	項目		数値等	
	一人ひとりに寄り添った相談を行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	離婚前相談件数　153件	離婚前相談件数　276件	離婚前相談件数　215件	離婚前相談件数　174件
実績値における前年度からの増減理由	令和7年度に吹田市へ提出された離婚届件数がそれ以前より微減傾向にあり、そのため令和6年中に離婚前相談に来られた方が微減したと考えられる。令和8年度の離婚届件数はまだわからないため、令和7年度の離婚前相談件数との相関があるかを今後注視していく。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 母子・父子自立支援員による、ひとり親家庭や寡婦の方の自立に必要な情報の提供や指導、貸付金の相談を実施した。 就業支援専門員によるひとり親家庭や寡婦の方の就業に関する相談を実施した。			
	(取組の効果と課題) ひとり親家庭の方の個々の事情に応じた就職、転職や資格取得等に関する助言・情報提供を行うことにより、自立やスキルアップ、就労につながっている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	ひとり親家庭の方が経済的に安定し自立できるよう、今後もハローワークや庁内関係所管との連携を強化しながら、的確な助言・情報提供に努める必要がある。児童扶養手当の手続き時など、本人の状況を聞取りし、就労支援につなげることができる機会を活かして、支援につなげていくことも肝要である。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**被害者の自立した生活に向け、住宅の提供に関する支援に努めます**	
担当室課	**住宅政策室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目		数値等	
	DV被害者が応募できる「ひとり親世帯向け」募集戸数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	14戸	4戸	5戸	2戸
実績値における前年度からの増減理由	退去等により募集可能となった部屋の戸数及び間取り等の条件により、提供戸数が増減する。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 市営住宅入居者募集にあたり、令和7年度は募集戸数41戸のうち、DV被害者が申込できる「ひとり親世帯向け」住居2戸を提供した。			
	(取組の効果と課題) 効果:居住が安定することで、自立した生活につながる。 課題:空き住戸の提供のため、募集時期により戸数の増減が発生する。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、DV被害者が応募できる住宅を提供する。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます**	
担当室課	**家庭児童相談室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	児童虐待相談件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,845件	2,113件	1,963件	2,161件

実績値における前年度からの増減理由	児童虐待相談対応において、重症化予防の観点から、軽微や疑いの場合でも通報するよう各機関と連携しており、各機関において児童に対し細やかに注意を払い通報している結果もあり、増加したものと考えられる。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待相談件数の内訳は、身体的虐待568件、性的虐待8件、心理的虐待1,053件、ネグレクト532件となる。 児童の面前でのDVや夫婦間の口論は児童に対する心理的虐待にあたり、その心的外傷から、児童の発達や成長に悪影響が及ぶ。これらの相談に対し、児童の状況を確認し、関係機関と情報を共有しながら、必要な支援や養育者に対する指導等を行った。
	(取組の効果と課題) 対応件数が増加していく中でも、関係機関と連携し、迅速に対応することができたが、今後も引き続き、関係機関との連携強化や職員の対応スキルの向上に取り組む必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	児童虐待相談に関し、早期に発見し適切な対応ができるよう、引き続き関係機関と緊密な連携を持ち、職員のスキル向上に取り組む。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**2**	**DVの根絶と被害者支援**
主な取組	**4**	**被害者保護と自立支援の強化**
取組の具体的内容	**安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます**	
担当室課	**のびのび子育てプラザ**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	相談件数	1,300件

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,341件	1,102件	952件	743件

実績値における前年度からの増減理由	相談体制に変更はないが、電話での相談件数が減少している。(前年比81%)
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 相談全体のうち半数以上、来館相談のうち約8割が保育所・幼稚園の入所相談となっている。育児や家族に関する継続的な相談が負担軽減となっているケースもある。
	(取組の効果と課題) 電話・来館・メール・オンラインでの相談を受け、安心して子育てできるように、助言や必要な情報を提供している。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	目標値は達成していないが、安心して子育てできるよう寄り添い、助言や必要な情報提供を行っている。 自由来館で遊びに来られた方が気軽に相談できるようにしながら、必要な場合は関係機関と連携した対応を引き続き実施する。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化
取組の具体的内容	安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます	
担当室課	教育センター	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率	100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	93.4%

実績値における 前年度からの増減理由	ペーパーレス化及び、より多くの人に周知することを目的として、チラシの配布からデータでの配信やホームページを活用した周知への変更を行ったため。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 相談できる窓口として、教育センターでの来所相談や電話相談、市立小学校での出張教育相談、市立小・中学校でのスクールカウンセラーへの相談を実施しており、その周知を行っている。
	(取組の効果と課題) 相談窓口の周知について、市立小・中学校の保護者に対して連絡網アプリよる配信を実施し、ホームページの情報の整理を行った。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	相談窓口の周知について、プッシュ型の支援を進めるため、チラシの配布・配架によらずさまざまな媒体を活用した配信を検討していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援
主な取組	5	DV加害者の更生支援
取組の具体的内容	DV加害に対する気づきを促すための啓発や、各種相談窓口の情報提供を行います	
担当室課	すいたストップDVステーション	計画推進の指標番号 12

目標	項目	数値等
	相談窓口の周知	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) DV加害者からの相談に対して、必要に応じて男性のための相談窓口を案内するほか、加害者プログラム等について情報提供を行った。また、被害者からの相談においても必要に応じて加害者プログラム等について情報提供を行った。
	(取組の効果と課題) 現状では被害者に対する支援が中心となっており、加害者に対するアプローチや効果的な更生支援については研究が必要である。
取組に対する 事業の評価	B A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	国や府が実施する加害者プログラムに関する動向に注視し、情報収集に努める。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**1**	**思春期における心とからだの健康づくりの推進**
取組の具体的内容	**性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います**	
担当室課	**保健給食室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	大阪府・国からの通知文書を配付して、 「世界エイズデー」等の周知を図る	4回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	4回	5回	5回	4回

実績値における 前年度からの増減理由	昨年度に比べ各講演会や研修の注目されているテーマが性感染症から変化したため。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 府や国からの案内を中心に所管の学校や学校医等へ周知し、啓発活動に努めた。 各校の養護教諭等へも研修や講演会の案内を適宜周知した。
	(取組の効果と課題) 市内での研修等では機会が少ないが、府や国の開催するWeb研修や講演会を周知することで参加の機会が増え、教職員等の知識を深め意見交流等をする機会を増やすことにつながった。 性に関する教育をテーマとする研修等が少なくなってきている。各種研修の開催状況の情報収集や市主体での研修の機会の場も検討が必要と思われる。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	継続的に情報提供を進めていく。 また、今後も啓発活動を推進していくためにも、各種研修の情報収集、市主体での研修の機会の確保についても検討していく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**1**	**思春期における心とからだの健康づくりの推進**
取組の具体的内容	**性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います**	
担当室課	**青少年室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	心身及び健康について正しい知識を習得し、適切な自己管理を行う	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	二十歳を祝う式典 参加率 71% 参加者 2,800人	二十歳を祝う式典 参加率 73% 参加者 2,800人	二十歳を祝う式典 参加率 73% 参加者 3,000人	二十歳を祝う式典 参加率 75% 参加者 2,900人

実績値における 前年度からの増減理由	参加者は前年度より減少しましたが、対象者数がそれ以上に減少(4,119人→3,856人)したため、参加率は上昇しています。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) ・二十歳を祝う式典のポータルサイトで、「梅毒、急増中！！～不安に思ったら検査を受けよう～」の情報を掲載した。 ・夢つながり未来館において、月経への理解促進と共感の醸成を目的として、月経(生理)をテーマに川柳を書くイベントを、大阪大学と共同実施した。 ・夢つながり未来館で開催しているロビーDEカフェの中で、高校生年代へのプレコンセプションケアの啓発を行った。
	(取組の効果と課題) これまでの二十歳を祝う式典のポータルサイトによる啓発だけでなく、すこやか親子室や大学と連携した取組を行うことができた。 また、女性だけでなく、参加している男性も月経について理解を深めることができた。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、夢つながり未来館においてリーフレットによる周知や、イベントでの啓発を行っていく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**2**	**妊娠・出産期における健康支援**
取組の具体的内容	**産前・産後の切れ目ない支援を実施するため、助産師等による面接や継続的なフォローの実施に努めます**	
担当室課	**すこやか親子室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	妊娠届出時等の面接率	100%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 妊娠期と出産後に面談を行い、妊娠・出産・子育てに関する情報提供や相談を行い、支援を要する妊産婦には関係機関につなぐなど、切れ目ない支援を実施。
	(取組の効果と課題) 引き続き、面談を通じて支援を要する妊産婦を把握し、リスクアセスメントを行い、関係機関と連携し切れ目ない支援を実施。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、面談等を通じて支援を要する妊産婦を把握し、関係機関と連携し切れ目ない支援を実施。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**2**	**妊娠・出産期における健康支援**
取組の具体的内容	**妊娠・出産に関わる機能の保護や、喫煙や飲酒が胎児や乳児に及ぼす影響について周知・啓発を行います**	
担当室課	**すこやか親子室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	妊娠届出時面接での妊婦への禁煙指導実施件数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	33件	21件	17件	5件

実績値における前年度からの増減理由	喫煙している妊婦の数が少なかったため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 妊娠届出時に喫煙・飲酒をしている妊婦に対して助産師等が保健指導を実施。夫など同居家族が喫煙する場合にも禁煙の啓発を実施。
	(取組の効果と課題) 妊婦への保健指導により、妊娠中の禁煙につながっているが、出産後に喫煙を再開するケースもあるため、プレコンセプションケアとして若い世代への禁煙啓発が重要と考える。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、妊娠中の禁煙、飲酒に関する指導を実施。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保			
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援			
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進			
取組の具体的内容	女性を中心に広く健康づくりを支援するため、情報提供の充実を図り、疾病の予防啓発に努めます				
担当室課	健康まちづくり室、地域保健課、高齢福祉室			計画推進の指標番号	16
目標	項目		数値等		
	健康に関する講演実施件数		21件		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	26件	32件	57件	64件	
実績値における前年度からの増減理由	・公民館等に出前健康講座のリーフレットを配布し、市民団体への周知を依頼したことから、出前健康講座の申込数が増加したため。 ・大学生向けのすいた健康サポーター養成講座を開始したため。				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ・健康に関する講演、教室、出前講座等、健康について学ぶ機会を提供した。 ・市民が定期的、継続的に健康づくりに取り組めるよう、多種多様なプログラムを提供した。 ・対象者の状況に応じた啓発を可能にするため、プログラムによっては講演会の後日に動画配信も行った。				
	(取組の効果と課題) ・講座を継続して実施することにより、市民の主体的な健康づくりを促し、疾病予防や健康の保持・増進につなげることができた。 ・現地への参加のほか講演会後に動画配信することで、より多くの方への周知啓発をすることができた。 ・若い世代や働く世代の方も含めて、あらゆる立場の市民が健康づくりの取組に参加できるよう、引き続き、開催方法や講演内容等を工夫していく必要がある。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、市民の主体的な健康づくりを支えるために、健康に関する講演や教室等を実施する。 健康に関心の薄い人も含め、より多くの市民に健康づくりに取り組んでもらうため、講演以外にも様々な啓発手法を用いて情報提供を行う。				

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保			
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援			
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進			
取組の具体的内容	女性を中心に広く健康づくりを支援するため、情報提供の充実を図り、疾病の予防啓発に努めます				
担当室課	成人保健課			計画推進の指標番号	16
目標	項目		数値等		
	①子宮がん検診受診率(市民意識調査※) ②乳がん検診受診率(市民意識調査※)		市民意識調査(令和8年度) ①60% ②60%		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	市民意識調査 子宮頸がん検診 50.5% 乳がん検診 49.7%。	―	―	―	
実績値における前年度からの増減理由	市民意識調査は4年に一度の調査であり、毎年度の増減比較はできない。前回市民意識調査(平成30年度 子宮頸がん35.4%、乳がん33.7%)との受診率の比較では令和4年度は増加している。市のがん検診の受診率に大きな変化は見られないことから、職場で実施されるがん検診や人間ドックでの受診者の増加が推察される。※調査結果から子宮20～69歳、乳40～69歳の受診率を計算したもの。				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 国立がん研究センターが作成したがん検診受診勧奨資材を用いて個別受診勧奨通知を郵送。検診受診の必要性や受診方法をわかりやすく記載したガイドブックを作成し、市報すいたと併せて年1回全戸配布した。また、ホームページやSNS、LINEセグメントを活用し、健康診査やがん検診受診の必要性について啓発に務めた。お子さんの予防接種や乳児健診通知にがん検診の案内を同封するなど、様々な機会をとらえてがん検診受診の必要性について啓発を行った。生命保険会社と連携し、市内在住の保険契約者にがん検診受診勧奨チラシの配布を依頼した。				
	(取組の効果と課題) 市民意識調査は4年に一度の調査であり、毎年度の評価は困難。職場や人間ドックで受診したがん検診受診の受診状況は現状では確認手段がなく、市民意識調査以外での実態把握ができない。 ナッジ理論に基づき作成された視認性の高い、年齢にあった啓発資材を用いることで、市のがん検診において若い世代の受診者数増が見受けられた。生命保険会社と連携することで、従来の市の啓発方法では届きにくい若い世代にもがん検診の情報を届けることができた。				
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き女性特有の疾病について関係機関や関係室課と連携し、正しい知識の情報提供を男女問わず進めていく。 がん検診や人間ドック利用からの早期発見や治療技術の進歩により、がん治療と社会参加の両立に対する支援も重要となっている。がん予防啓発を行うとともに、がんとの共生社会の実現に向けた啓発とアピアランスケアを通じた社会参加促進支援を行っていく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**3**	**成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進**
取組の具体的内容	**喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます**	
担当室課	**成人保健課**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	①喫煙率(市民意識調査※) ②多量飲酒者の割合(吹田市30歳代健康診査及び吹田市国保健康診査問診結果)	①男性15.0%以下、女性5.0%以下 ②男性1.7%以下、女性0.22%以下

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①男性21.7% 女性7.4% ②男性2.4% 女性0.35%	① ー ②男性2.5% 女性0.36%	① ー ②男性2.6% 女性0.44%	① ー ②男性2.6% 女性0.54%

実績値における前年度からの増減理由	①については、市民意識調査は4年に一度の調査かつ、前回調査時に喫煙に関する設問がないため、増減比較はできない。令和6年度国民栄養調査における喫煙率(男性24.5%、女性6.5%)との比較では吹田市民の喫煙率は低い。②については健康診査受診者の変動等により、割合がやや微増しているものの横ばいの状態である。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 禁煙治療に係る医療費の自己負担助成制度を行い、禁煙の取組を支援するとともに、禁煙開始届出者へは再喫煙防止のための通知や保健師による個別支援を実施した。大学生むけ健康サポーター養成講座や市内企業向け出前講座等の機会をとらえ、健康教育の一貫として、喫煙や多量飲酒による健康への影響について啓発を実施。健康相談、保健指導等において、医療専門職による禁煙や適正飲酒の個別指導を行っている。
	(取組の効果と課題) 様々な機会を捉え、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について啓発することができた。大学生や働く世代など、若い世代に向け啓発を行うことができた。成人保健課所管事業のみでは、市民への啓発方法が限られるため、すこやか親子室や地域保健課など関連部署と連携したと取組を行っていく必要がある。
取組に対する事業の評価	B A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き様々な機会を捉え、喫煙や飲酒に関する啓発を実施。健康相談、保健指導等において医療専門職による生活習慣病につながるよう個別指導を行う。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**3**	**成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進**
取組の具体的内容	**喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます**	
担当室課	**地域保健課**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	①喫煙率(市民意識調査※) ②多量飲酒者の割合(吹田市30歳代健康診査及び吹田市国保健康診査問診結果)	①男性15.0%以下、女性5.0%以下 ②男性1.7%以下、女性0.22%以下

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①男性21.7% 女性7.4% ②男性2.4% 女性0.35%	① ー ②男性2.5% 女性0.36%	① ー ②男性2.6% 女性0.44%	① ー ②男性2.6% 女性0.54%

実績値における前年度からの増減理由	①については、市民意識調査は4年に一度の調査かつ、前回調査時に喫煙に関する設問がないため、増減比較はできない。令和6年度国民栄養調査における喫煙率(男性24.5%、女性6.5%)との比較では吹田市民の喫煙率は低い。②については健康診査受診者の変動等により、割合がやや微増しているものの横ばいの状態である。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ・11月のアルコール関連問題啓発週間に、パネル展示やリーフレットの配架を実施。毎年12月には、吹田市断酒会と共催で「断酒を考える会」を開催した。その他、保健所ホームページや市報、公式SNS等を活用して情報発信を行った。 ・大和大学看護学部においてアルコールに関する正しい知識の習得を目的に、アルコール教室を開催した。 ・市内5大学の学生に対して、各大学のイントラネットを活用してアルコール関連問題に関する情報を発信した。 ・こころの健康相談においては、本人及び家族に対しアルコール依存症を含む依存症専門相談を実施した。また、必要に応じて嘱託医による相談や医療機関の紹介も実施した。
	(取組の効果と課題) 取組の効果を判定する材料は、目標項目のみとなる。今後の課題としては、普及啓発週間におけるパネル展示やリーフレットの配架、ホームページや市報、公式SNS等での情報発信を通じた普及啓発活動、大学生等へのアルコール教室や市内5大学の学生に対して各大学のイントラネットを活用したアルコール関連問題に関する情報発信、こころの健康相談の中で、本人及び家族に対するアルコール依存症を含む依存症専門相談等を、引き続き維持・継続していくことと考える。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ホームページやSNSでアルコールの適正飲酒について啓発を図っていく。また、吹田市内の大学連絡会でアルコール教室の周知を図り、引き続き教室開催に参加する大学を集っていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進
取組の具体的内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます	
担当室課	健康まちづくり室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	スモークフリー協賛事業者制度登録事業者数	市内事業者の80% （参考：令和3年度経済センサス活動調査における I～P業種 5,619事業者×80%＝4,495事業者）

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	527事業者	577事業者（累計）	585事業者（累計）

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） ・市と事業者が一体でスモークフリーの機運醸成を図る協賛事業者制度の登録事業者数を増やすため、市内健康優良企業に対し登録を働きかけた。 ・密閉型喫煙所「卒煙支援ブース」において、動画やポスターを活用した禁煙啓発や、禁煙治療費一部助成制度「禁煙チャレンジ」の周知を実施した。 ・市内小学校4校、児童センター10か所、図書館3館でたばこに関する啓発展示を実施した。 （取組の効果と課題） 令和7年度においては市内健康優良企業に対し登録を促すことで機運醸成を図ったが、8件の登録にとどまっており、周知啓発が不十分であった。
取組に対する事業の評価	C A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	事業者と一体となった機運醸成を進めるため、喫煙の害や受動喫煙防止についての正しい知識の普及啓発を行う。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進
取組の具体的内容	認知症サポーター養成講座など、性別を問わず介護への理解を深める講座を開催します	
担当室課	高齢福祉室	計画推進の指標番号

目標	項目	数値等
	認知症サポーター養成講座受講者数（年度末累積）	令和6年度末　32,926人 令和7年度末　35,196人　（第9期計画目標） 令和8年度末　37,466人

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	28,386人　講座回数42回	29,464人　講座回数55回	31,155人　講座回数59回	32,786人　講座回数63回

実績値における前年度からの増減理由	市民向けに加えて、小中学校、大学やオンライン開催で実施し、令和7年度の講座回数は63回で、令和6年度の59回を上回ったが、受講者数目標数値には達しなかった。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 地域包括支援センターをはじめ、市内の公共施設や商業施設等において、ポスターやちらしを配架するとともに、市報やホームページ、市の介護予防教室でも認知症サポーター養成講座について啓発を行った。事業者向けや市民向け講座の一部ではオンラインや土日に開催したり、市内郵便局員対象の講座や小中学生向け、大学生向けの講座も開催した。認知症サポーターがより具体的な活動を行うチームオレンジの立ち上げに向けて、ステップアップ講座を開催し、77人のサポーターが参加した。 （取組の効果と課題） 市内各地の会場で開催し、参加者のニーズに合わせてオンライン開催でも実施したことで、市民に加えて事業者の方や小中学生・大学生の認知症サポーターも養成することができた。チームオレンジは4チームに増え、認知症の人の居場所づくり等の活動を行っている。更なる取組の展開のため、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、地域での具体的な取組に向けて働きかけを行っているが、15箇所の地域包括支援センターすべての圏域でのチームオレンジの立上げには至っていない。
取組に対する事業の評価	B A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	令和6年度と比べ、令和7年度では市民の受講者が減少している。認知症に関する啓発、周知を図り、市民向け、事業者向け、学校向けに認知症サポーター養成講座を開催していく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**3**	**成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進**
取組の具体的内容	**フレイル予防や介護予防の普及啓発のための、講演会や相談会等を実施します**	
担当室課	**高齢福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	介護予防講演会の参加者数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	352人	574人	436人	422人

実績値における前年度からの増減理由	令和6年度より講演会回数を8回から5回に変更しており、参加者数は横ばいである。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 栄養改善、口腔機能向上、認知症予防、介護予防の講演会を実施した。各講演会にて吹田市の介護予防事業や現状を伝え、啓発する場ともなっている。
	(取組の効果と課題) テーマごとに講演会をすることで、それぞれの分野での介護予防の最新の知識を得ることができ、日常生活の中で介護予防の行動をとるように意識の向上につながっている。健康や介護予防に関する無関心層へのアプローチ方法が課題である。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き事業継続し、啓発をしていく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**3**	**成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進**
取組の具体的内容	**ひろばde体操やいきいき百歳体操の活動支援を通して、フレイル予防、介護予防に取り組む地域づくりを促します**	
担当室課	**高齢福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	いきいき百歳体操実施グループ数	毎年8グループ増加

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	163グループ	172グループ	176グループ	184グループ

実績値における前年度からの増減理由	地域包括支援センターの呼びかけもあり、新規グループが立ち上がっている。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域包括支援センターと連携して実施した。いきいき百歳体操のおためし講座後、継続的に活動を希望するグループに対しては活動支援講座を、立ち上がり後はフォロー講座を実施した。フォロー講座では、体力測定、体操指導、グループ運営に関するサポートや助言等の支援を継続期間に合わせて実施した。また、1年間継続してグループ活動へ参加し90歳になる方で希望者へ、表彰を実施した。 いきいき百歳体操グループとひろばde体操のボランティアを対象に活動報告会を開催した。
	(取組の効果と課題) グループの立ち上がり後もフォロー講座や90歳表彰等を通して、参加者のモチベーションを保ち、継続できている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き地域包括支援センターと連携し、新たなグループが立ち上がるよう、地域住民に働きかける。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進
取組の具体的内容	からだと健康についての理解を深めるための講座を実施します	
担当室課	男女共同参画センター	計画推進の指標番号 15

目標	項目	数値等
	対象講座延べ受講者数	60人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	46人	80人	73人	41人

実績値における前年度からの増減理由	講座の受講者数が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 性について子供への伝え方を学ぶ講座と、女性の体の変化や女性ホルモンとの関係、自身の身体のセルフケア方法について学ぶ講座を実施した。
	(取組の効果と課題) 女性の体の変化等に関する講座では、セルフケアを通して自分の体に関心を持ち、健康増進につなげることの大切さを伝えることができた。
取組に対する事業の評価	B A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	広い世代にアプローチできる方法を検討する。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進
取組の具体的内容	性に関する正しい情報を提供することで、学校、保育所・幼稚園等における性に関する教育の充実を図ります	
担当室課	学校教育室	計画推進の指標番号 15

目標	項目	数値等
	全小中学校に情報提供	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 性に関する指導について、国や府からの通知を各校へ周知した。また、各校において学習指導要領に則り、児童・生徒が身体の変化や性の意識の変化について理解し、自他を大切にする心を育み、性に関する適切な態度や行動の選択ができるように、保健の授業を中心として学校の教育活動全体で取組を行った。
	(取組の効果と課題) 国や府の通知や教職員向けの研修案内を各校へ周知し、性に関する情報やそれに伴うSNSの危険性やデートDV等最新の動向について児童・生徒や保護者だけでなく教職員が学ぶ機会を設けた。今後は、教職員向けの研修や保護者向けの講習会等の周知をさらに広めていく必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進

取組の具体的内容	性に関する正しい情報を提供することで、学校、保育所・幼稚園等における性に関する教育の充実を図ります			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	性に関する教育の充実		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–
実績値における前年度からの増減理由				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 性別にとらわれないクラス運営、園運営の推進に取り組んできた。			
	(取組の効果と課題) 大人の意識の改革を進め、性別にとらわれない言動や行動を進めるよう留意してきた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、こども一人一人の個性や持ち味を尊重した教育保育に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進

取組の具体的内容	大阪府が行っている「にんしんSOS」の普及・啓発を行うとともに様々な悩み相談に対応します			
担当室課	青少年室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	望まない妊娠に関する正しい知識の習得		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	夢つながり未来館利用者数 360,082人	夢つながり未来館利用者数 363,942人	夢つながり未来館利用者数 378,551人	夢つながり未来館利用者数 373,174人
実績値における前年度からの増減理由	夢つながり未来館のうち、青少年活動サポートプラザ及び、のびのび子育てプラザの利用者数は前年度に比べて増加していたが、山田駅前図書館においては、昨年度システム更新に伴い一時休館をしていたため、利用者数が減少した。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 「望まない妊娠」・「性暴力」に関するリーフレットを周知し、相談に対応できる体制づくりを行った。 また、月経川柳」という企画を通じて月経に関する理解促進と関心喚起を図るとともに、マタニティスーツ着用や乳児人形の抱っこ体験を取り入れたプレコンセプションケアの啓発イベントを実施し、妊娠・出産・育児について主体的に考える機会を提供した。			
	(取組の効果と課題) イベントを通して、妊娠や育児に対する現実的な理解を深め、望まない妊娠等に関する正しい知識を習得する機会を提供することができ、青少年に対して行う啓発としては効果的な取組であると考えている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	「望まない妊娠・出産」を防止するため、引き続き青少年に対する啓発活動を行い、相談があった場合は適切な支援をしていく。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**4**	**性と生殖についての理解の促進**

取組の具体的内容	**妊娠についての正しい知識の普及・啓発を行うとともに、様々な悩み相談に対応します**			
担当室課	**すこやか親子室**		**計画推進の指標番号**	**15**
目標	項目		数値等	
	妊娠・出産についての正しい知識の普及・啓発実施回数		年に2回実施	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	2回	3回	4回
実績値における前年度からの増減理由	市内の高等学校(自前で取組をしていない高校)から講座実施の要望を受け実施。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ①関西大学の学生を対象に「吹田市と関西大学」(共通教養科目)でプレコンセプションケアの講義を実施。 ②青少年活動サポートプラザにて、施設利用中の高校生に対して、プレコンセプションケアの啓発を実施。 ③市内の高等学校2校に、プレコンセプションケアの講義を実施。			
	(取組の効果と課題) 将来の妊娠や出産について考える機会が少ない高校生や大学生に対して、正しい知識等を啓発することで、日頃からの健康づくりも考えてもらう機会となった。今後、幅広く周知するために効率的・効果的な啓発の実施が必要。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市内の教育機関等と連携し、効率的・効果的な方法で啓発を継続。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**3**	**ライフステージに応じた健康支援**
主な取組	**4**	**性と生殖についての理解の促進**

取組の具体的内容	**性感染症についての正しい知識の普及・啓発を行うとともに、早期診断のための検査を実施します**			
担当室課	**地域保健課**		**計画推進の指標番号**	
目標	項目		数値等	
	HIV等性感染症に関する予防啓発の実施回数		年6回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	啓発回数 7回	啓発回数 10回	啓発回数 8回	啓発回数 10回
実績値における前年度からの増減理由	若い世代への啓発に注力した。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ・児童部すこやか親子室とともに市内大学においてプレコンセプションケアに関する講義を行い、性感染症に関する啓発を行った。 ・市内5大学への定例外検査の周知や、成人祭での啓発、ヨドコウ桜スタジアムで啓発ブースを設置し参加する等若年層へのアプローチも行った。			
	(取組の効果と課題) ・イントラネットやSNS等で啓発を行い、受検者数が増加した。(R6;203人・R7;225人) ・全国的に若年層の梅毒の報告数が増加、若年層が検査や相談をしやすい取り組みが必要と考える。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、若年層に対して、性感染症予防に関する正しい知識の普及・啓発を図る。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**		
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**		
主な取組	**1**	**貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援**		
取組の具体的内容	**困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します**			
担当室課	**福祉総務室**		**計画推進の指標番号**	**17**
目標	項目		数値等	
	包括的な支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業の実施体制等にかかる検討回数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	5回	13回	― (令和7年度事業開始)
実績値における前年度からの増減理由	過去の検討を経て令和7年度から重層的支援体制整備事業を開始した。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 重層的支援体制整備事業を開始し、従来、高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者といった対象者別の制度による支援を行ってきたところだが、本事業により、複数の支援事業を、各分野の制度や縦割りを超えて一体的に実施し、支援機関や地域団体等と連携することにより、複雑化・複合化した課題を抱える世帯に対応していく包括的な支援体制の構築を進めている。また、相談支援事業だけでなく、参加支援事業、地域づくり事業等を一体的に実施している。			
	(取組の効果と課題) 事業開始前から丁寧に複数室課で検討を重ねた結果、庁内の合意形成を図り、スムーズな事業実施につなげることができた。引き続き包括的な支援体制の構築に向けた関係機関との連携や職員に対する研修等に取り組む必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、関係機関との対話を進めながら、庁内の関係室課や支援機関等に対する制度への理解や研修等に取り組む。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**		
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**		
主な取組	**1**	**貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援**		
取組の具体的内容	**困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します**			
担当室課	**高齢福祉室**		**計画推進の指標番号**	**17**
目標	項目		数値等	
	①地域包括支援ネットワーク会議の開催・出席回数 ②地域包括支援センターの相談件数		①令和6年度末　510回、令和7年度末　520回 ②令和6年度末　33,745件、 令和7年度末　36,230件(第9期計画目標)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①496回 ②28,774件	①793回 ②31,724件	①812回 ②32, 144件	①888回 ②34,133件
実績値における前年度からの増減理由	高齢者人口が増加しており、地域包括支援センターへの相談件数が増加している。 福祉サービス、医療サービス、生活全般の相談件数が増えている。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域住民を対象とした活動の再開や新たな機会の創出等について、地域の行事等の様々な機会を通して、地域包括支援センターの業務の周知を図っている。また、市として、要支援・要介護認定の結果を通知する際に、地域包括支援センターの一覧を同封する等、市が実施する事業を通して、広く高齢者と家族等市民への相談先としての地域包括支援センターの周知に努めた。			
	(取組の効果と課題) 地域包括支援センターの地域活動、相談件数が増加しており、相談対応をきっかけとして地域の多様な機関と地域ネットワークを構築している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、地域包括支援センターを主体に、地域団体や、民間事業所等との連携した地域に根ざした特色のある取組を進め、市民にとってより身近な総合相談窓口としての機能を発揮する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	包括的な相談支援体制の構築		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–
実績値における前年度からの増減理由				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域自立支援協議会において障がい者等への支援体制等に関する課題について協議し、包括的なネットワークの体制の充実を図る。			
	(取組の効果と課題) 地域自立支援協議会は地域の課題等を把握しサービス基盤の整備を効果的に進めていく役割を担っており、活動が活発化しているが、ジェンダーの視点については引き続きの課題である。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	地域自立支援協議会の機能を強化し、多方面から包括的なネットワーク体制の構築に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	生活福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	ハローワーク等関係機関と連携し、 就労自立できるよう個々に合わせた支援を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 45人	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 69人	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 64人	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 58人
実績値における前年度からの増減理由				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 引き続きハローワークと連携し、就労阻害要因を把握し、一人一人の課題に対応しながらきめ細やかな就労支援を行う。			
	(取組の効果と課題) 支援対象者のうち、就労に至る率は向上しつつあるものの、非正規職員での就労であることが多い。また、退職し再度相談、生活保護の申請となるケースも見受けられる。そのため、自立後の安定した生活を目指すためにも、正規職員への就職者を増やすことが課題である。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続きハローワークと連携し、個々の状況に応じた就労支援を実施する。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**
主な取組	**1**	**貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援**
取組の具体的内容	**介護保険制度や障害者総合支援制度の活用の啓発を行います**	
担当室課	**高齢福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	①市内の地域包括支援センターで受け付けた介護保険サービスに関する相談件数、 ②すいた年輪サポートなびの活用状況	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①相談件数12，745件、 ②すいた年輪サポートなび アクセス数102,736回	①相談件数13,463件、 ②すいた年輪サポートなび アクセス数 182,340件	①相談件数 13,480件、 ②すいた年輪サポートなび アクセス数 281,655件	①相談件数 12,491件 ②すいた年輪サポートなび アクセス数 641,845件

実績値における前年度からの増減理由	「すいた年輪サポートなび」は、令和4年度に高齢者の生活サポート情報を追加掲載し、継続した周知に取り組んでいる。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 「すいた年輪サポートなび」啓発チラシを活用し、地域包括支援センターや市内医療機関など関係機関に配布し周知を進めている。また、市公式LINEを活用した周知の実施。
	(取組の効果と課題) 引き続き「すいた年輪サポートなび」について、市ホームページや公式SNS等を活用して、幅広い市民や関係機関へ周知し、活用していただけるよう努める必要がある。

取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	在宅医療を支えていくための連携体制の強化のため、多職種連携研修会、ケアマネ塾、ケアマネ懇談会を開催し、顔の見える関係づくりの取組を進める。「すいた年輪サポートなび」の認知度向上のため、今後も市民や関係機関への周知を図る。	

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**
主な取組	**1**	**貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援**
取組の具体的内容	**介護保険制度や障害者総合支援制度の活用の啓発を行います**	
担当室課	**障がい福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	啓発事業開催	3回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	0回	3回

実績値における前年度からの増減理由	研修ニーズがあったため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域包括支援センターの新任職員やケアマネージャー(介護支援専門員)に対し、地域包括支援センターから依頼を受けて、障がい福祉サービスに関する学習会を実施している。具体的なサービスの種類や利用申請に至るまでの流れ、介護保険サービスとの併用について担当職員が講師となり実施している。
	(取組の効果と課題)
	65歳を迎えると、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行が生じるが、ケアマネジャーによっては、障がい福祉サービスの制度概要や理解が十分とは言えない状況がある。このことにより、介護保険サービス移行によって必要なサービスが提供できない事態が生じないよう、制度理解を深めるための研修や65歳到達以降の利用サービス切り替えのためのガイドラインを作成する等の取組が必要である。

取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	高齢福祉室及び地域包括支援センターとも連携の上、引き続き、啓発を進めていく。	

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**
主な取組	**1**	**貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援**
取組の具体的内容	**養護者による高齢者虐待防止啓発のため、地域での出前講座や民生委員・児童委員等を対象に研修を実施します**	
担当室課	**高齢福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	地域ケア会議ブロック別定例会の開催回数 （そのうち高齢者虐待の事例検討や研修の回数） 高齢者虐待対応や防止に関する出前講座の回数	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域ケア会議　43回(2回) 出前講座　25回	地域ケア会議　44回(2回) 出前講座　10回	地域ケア会議33回(0回) 出前講座　5回	地域ケア会議33回(0回)

実績値における前年度からの増減理由	地域ケア会議については、増減はないが、ブロック別ではなく包括別で実施された定例会があった。(より小さな地域単位で開催)
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域ケア会議ブロック別・包括別定例会では、重層的支援体制整備事業をテーマに検討をするブロックが多く、認知症の人への見守り体制や2025年問題等について検討を重ねたブロックもあった。重層的支援体制整備事業の理解を深めるために福祉部福祉総務室を招き、講義とグループワークで相談先や社会資源について話し合った。
	(取組の効果と課題) 複合的な問題を抱えるケースへの関りのきっかけや相談先などをグループワークを通して、検討し、先の見えない問題が多い中で、個々の持っている知識は限られたものかもしれないが、いろいろな機関へ繋げることができるという意識をもって関わることが大切だということを確認した。

取組に対する事業の評価		
	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である

今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	地域ケア会議を通じて、高齢者の地域課題を検討する事により、高齢者への見守りや、高齢者虐待の早期発見及び未然防止に向けて、窓口の周知及び地域づくりを継続していく。

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**
主な取組	**1**	**貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援**
取組の具体的内容	**障害者虐待防止法における制度改正等により事業所に対して虐待防止が義務化されたことを受け、広く啓発を実施するため、事業所への研修を行います**	
担当室課	**障がい福祉室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	事業所向けの研修	3回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3回	3回	2回	2回

実績値における前年度からの増減理由	市が実施する事業所向け研修については従前と同様に実施したが、事業所からの個別研修のニーズが少なかったと考えられる。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 障がい者に対する虐待について速やかな通報につなげることを徹底するため、事業所の従業者に対し虐待防止の意識を高めるための研修を実施する。
	(取組の効果と課題) 様々なサービス種別の事業所に対し、今後も虐待に関する啓発や事業所向けの研修等を継続的に実施し、正しい知識の普及と、速やかな通報の必要性を伝えていくことが求められる。

取組に対する事業の評価		
	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である

今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き啓発を実施。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭が抱える課題に応える相談・支援の充実と当事者間の交流機会の形成を促進します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	18

目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	1講座	1講座	1講座

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) シングルマザー向けの家計講座の中で、参加者同士の意見交換会の時間を設け、良い雰囲気の中で情報交換等ができた、また、女性のための電話相談や対面相談、傾聴電話、傾聴カフェのほか、男性のための電話相談などで支援を行った。
	(取組の効果と課題) ニーズを見極めながら、ひとり親を対象とした講座を実施することを検討する。

取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して当事者目線での講座企画や相談ができる場を作っていく。	

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親世帯等の相談体制を強化するとともに、日常生活の支援や養育費確保に向けた取組を推進します			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	18

目標	項目		数値等	
	一人ひとりに寄り添った相談や支援を継続的に行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①ひとり親家庭相談件数1,154件 ②就業・自立支援相談件数705件 ③養育費・親子交流相談件数23件 ④公正証書等作成支援件数20件	①ひとり親家庭相談件数1,077件 ②就業・自立支援相談件数639件 ③養育費・親子交流相談件数27件 ④公正証書等作成支援件数20件	①ひとり親家庭相談件数1,052件 ②就業・自立支援相談件数590件 ③養育費・親子交流相談件数17件 ④公正証書等作成支援件数35件 ⑤強制執行申立費用補助件数1件	①ひとり親家庭相談件数990件 ②就業・自立支援相談件数508件 ③養育費・親子交流相談件数20件 ④公正証書等作成支援件数26件 ⑤強制執行申立費用補助件数1件

実績値における前年度からの増減理由	①については前年度より微減しているが、現時点での理由特定は困難であり、今後の実績を注視していく。②については、求人率等など市場の影響が考慮されるが、現時点での理由特定は困難であり、引続き令和8年度実績を注視していく。③については前年度とほぼ同水準である。④については、令和6年度に吹田市へ提出された離婚届件数がそれ以前より増加傾向にあり、令和6年度の件数が増加したもので、それ以前とはほぼ同水準である。⑤については前年度とほぼ同水準である。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 子供のための養育費のこと、離れて暮らす親との親子交流について、専門相談員による相談を実施した。養育費の取り決めのための公正証書の作成費用や、調停・裁判に要した費用の一部、また、養育費を取り決めたものの、未支払となっている場合の強制執行申立費用の一部を補助した。
	(取組の効果と課題) 養育費・親子交流の専門相談については、毎月予約が埋まることが多く、ひとり親家庭の抱える問題の解決のための一助として活用されている。養育費取得のための費用補助について、市報やホームページ等での広報方法を検討し、より一層の周知に努めていく。

取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ひとり親家庭の相談については子育て給付課がワンストップで実施するとともに、関係所管との連携を図りながら、一人ひとりに寄り添い、より充実した相談・支援体制を整備していく。また、養育費等の専門的な相談についての周知も積極的に行っていく。	

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**
主な取組	**2**	**ひとり親家庭に対する支援**
取組の具体的内容	**医療費の助成・児童扶養手当の支給・福祉資金の貸付け制度による経済的自立に向けた支援をします**	
担当室課	**子育て給付課**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	一人ひとりの状況に応じた対応を行っていく。	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①児童扶養手当受給者数1,909人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 63,285件 ③子ども医療費助成件数 853,398件 ④新規貸付件数23人	①児童扶養手当受給者数1,876人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 69,134件 ③子ども医療費助成件数 998,810件 ④新規貸付件数9人	①児童扶養手当受給者数1,873人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 68,004件 ③子ども医療費助成件数 986,446件 ④新規貸付件数17人	①児童扶養手当受給者数1,788人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 67,756件 ③子ども医療費助成件数 959,114件 ④新規貸付件数16人

実績値における前年度からの増減理由	現時点での理由特定は困難であり、今後の実績を注視していく。④については前年度とほぼ同水準である。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童扶養手当の支給、医療証を交付し医療機関での費用負担の軽減を図った。また、子供が大学等へ進学する際の入学金や学費の資金等の貸付けを行った。
	(取組の効果と課題) 手当の支給、医療費助成や適切な資金の貸付けにより、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ることが出来た。

取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、制度の適切な運用に努め、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に努める。	

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**
主な取組	**2**	**ひとり親家庭に対する支援**
取組の具体的内容	**ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **18**

目標	項目	数値等
	対象講座開催数	2講座

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3講座	2講座	2講座	1講座

実績値における前年度からの増減理由	新しいテーマの講座企画に要する時間を十分に確保することとし、全体の講座のバランスの中で、シングルマザーを対象とした法律講座を実施しなかったため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 就労支援ではないが、シングルマザーを対象にマネー講座を開催し経済的自立の支援を行った。
	(取組の効果と課題) 内容だけでなく、開催形態や日時など、シングルマザーが受講しやすい講座にする工夫が必要である。

取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して当事者目線での講座企画を行っていく。また、対象者に届きやすい周知方法を検討する。	

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**			
主な取組	**2**	**ひとり親家庭に対する支援**			
取組の具体的内容	**ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します**				
担当室課	**地域経済振興室**			**計画推進の指標番号**	**18**
目標	項目		数値等		
	就労支援講座を開催		2種類以上		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	①調剤事務講座:2名 ②介護職員初任者研修:1名 ③ビジネスパソコン講座:1名	①CAD利用技術者:0名 ②介護職員初任者研修:1名 ③ビジネスパソコン講座:0名	①CAD利用技術者:0名 ②介護職員初任者研修:0名 ③ビジネスパソコン講座:0名	①ITパスポート対策講座:0名 ②介護職員初任者研修:0名 ③ビジネスパソコン講座:0名	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身に付けるための就職支援講座を実施しており、ひとり親家庭に対する一定の受講枠を設定。				
	(取組の効果と課題) 様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身に付けることで経済的自立に直接的に結びつく事業として有益であると考える。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き就労支援講座を実施していく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**			
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**			
主な取組	**2**	**ひとり親家庭に対する支援**			
取組の具体的内容	**ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します**				
担当室課	**子育て給付課**			**計画推進の指標番号**	**18**
目標	項目		数値等		
	講座実施により一人ひとりの状況に応じた就労支援を実施する		設定なし		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	14人	17人	16人	19人	
実績値における前年度からの増減理由	前年度とほぼ同水準である。				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 母子家庭及び寡婦の自立に役立つ知識・技能の取得のため技能習得講座を実施した。				
	(取組の効果と課題) 就業支援のためのパソコン講習会及び介護職員初任者研修等を実施し、就労や在職者については職場でのスキルアップにつながっていると思われる。 市報やホームページ等での広報方法を検討し、より一層の周知に努め、ひとり親家庭の講座受講機会の確保に努めていく必要がある。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、窓口での案内実施や市報・SNS等を活用するなど、より的確な周知方法の検討をして、受講案内の周知を積極的かつ効果的に行っていく。				

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**		
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**		
主な取組	**3**	**多様な性に関する理解の促進**		
取組の具体的内容	**ジェンダーの視点を取り入れた学校運営を行うとともに、多様な性に関する理解の促進を図るため、人権教育担当者会、初任者研修を通じて啓発を行います**			
担当室課	**学校教育室**		**計画推進の指標番号**	**19**

目標	項目		数値等	
	人権教育担当者会、初任者研修		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	−
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権教育担当者会、初任者研修において、多様な性に関する理解の促進を図る研修を行った。			
	(取組の効果と課題) 人権教育担当者会、初任者研修において、多様な性に関する理解の促進を図った。性に関する理解の促進を生徒指導の一環ととらえ、生徒指導研修でも性に関する理解の促進を図る必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	**2**	**暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保**		
基本課題	**4**	**困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備**		
主な取組	**3**	**多様な性に関する理解の促進**		
取組の具体的内容	**教職員に対し、セクシュアリティやジェンダーについての研修を充実させます**			
担当室課	**教育センター**		**計画推進の指標番号**	**19**

目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	96.5%	99.5%	100.0%	100.0%
実績値における前年度からの増減理由				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) セクシュアリティやジェンダーについての研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。			
	(取組の効果と課題) 多様な性の理解を促す研修を初任者研修をはじめ、特に若年教職員を対象に実施することで、子供理解の資質・能力の育成に取組んでいる。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進
取組の具体的内容	ジェンダーに関するDVDなどの貸出し、図書・資料の収集・提供に努めます	
担当室課	人権政策室	計画推進の指標番号 19

目標	項目	数値等
	吹田市人権啓発推進協議会における人権啓発DVDの貸出	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	17回	16回	14回	21件

実績値における前年度からの増減理由	貸し出し希望が増加したため
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 吹田市人権啓発推進協議会が所有する人権啓発DVDを地区委員会、企業、団体などに貸出した。 人権啓発DVDを最新の内容に数本更新した。
	(取組の効果と課題) 研修会や上映会で人権啓発DVDを上映することにより、多くの市民に人権啓発を行うことができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、人権啓発DVDを最新の内容に更新し、幅広い団体、企業等に貸し出ししていく。

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進
取組の具体的内容	多様な性に関する啓発を進めるとともに、性に関する悩み(LGBTQを含む)などの相談に対応します	
担当室課	人権政策室	計画推進の指標番号 19

目標	項目	数値等
	人権擁護委員が市民からの人権相談に応じ、 小学生・中学生を対象に人権教室を実施	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	51回	16回	23回	21回

実績値における前年度からの増減理由	市民からの相談や学校からの依頼が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 市民からの相談を受けて、人権擁護委員による人権相談を5回実施した。 小学校・中学校からの依頼を受けて人権擁護委員が学校を訪問し、人権に関わる授業を16回実施した。
	(取組の効果と課題) 多くの小学校・中学校から希望があり、人権教室を実施することで人権について学ぶ機会とすることができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	人権擁護委員は、日常生活の中で生じる人権問題について、市民からの人権相談に応じたり、子供たちが人権について考える機会を作る啓発活動として人権教室を実施しており、様々な人権擁護委員活動が推進されるよう引き続き支援することが必要である。

<table>
<tr><td>基本方向</td><td>2</td><td colspan="4">暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保</td></tr>
<tr><td>基本課題</td><td>4</td><td colspan="4">困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備</td></tr>
<tr><td>主な取組</td><td>3</td><td colspan="4">多様な性に関する理解の促進</td></tr>
<tr><td>取組の具体的内容</td><td colspan="5">性的マイノリティの方が、お互いを人生のパートナーとすることを宣誓された事実を公に証明するパートナーシップ宣誓証明制度を実施します</td></tr>
<tr><td>担当室課</td><td colspan="3">人権政策室</td><td>計画推進の指標番号</td><td>19</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目標</td><td colspan="2">項目</td><td colspan="3">数値等</td></tr>
<tr><td colspan="2">パートナーシップ宣誓証明制度を実施</td><td colspan="3">設定なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実績値</td><td>令和4年度(参考)</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td colspan="2">令和7年度</td></tr>
<tr><td>ー</td><td>7件</td><td>6件</td><td colspan="2">3件</td></tr>
<tr><td>実績値における
前年度からの増減理由</td><td colspan="5">交付の申請が減少したため。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">令和7年度の
取組状況</td><td colspan="5">(取組の実施状況)
性的マイノリティの方からパートナーシップ関係である旨の宣誓を受けて、「パートナーシップ宣誓受領証」を交付した。</td></tr>
<tr><td colspan="5">(取組の効果と課題)
市民一人ひとりが互いに多様な生き方を「認め合い、尊重し、支え合うまち」を目指し、性的マイノリティ当事者が住み慣れた地域で自分らしく生きることを支援するための取り組みの一つとして実施しており、当事者のニーズを把握するとともに、国や他自治体の動向を注視する必要がある。</td></tr>
<tr><td>取組に対する
事業の評価</td><td>A</td><td colspan="4">A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる
B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである
C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である</td></tr>
<tr><td>今後の方向性
(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)</td><td colspan="5">多様な生き方を理解し、互いの人権を尊重し合い、誰もがありのままに生きられる社会の実現に向けて取り組みを進める。</td></tr>
</table>

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向３

男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**1**	**市職員に対する男女共同参画研修の充実**
取組の具体的内容	**市職員の男女共同参画に関する意識形成のため、ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止等の研修を実施します**	
担当室課	**人事室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	研修開催回数	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	1回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 令和7年度は、職場における育児中職員への理解促進を図るとともに、女性活躍を支える、男性が育児を担う重要性について理解を深める研修を実施した。
	(取組の効果と課題) 令和7年度の研修では、組織・キャリア開発の専門家と元自治体職員で長期育児休業取得者の対談形式の講義及び対話形式のカード型育児体験ワークを実施することにより、管理職を中心に、職員の育児について考える機会となった。引き続き、効果的な研修を実施することでワーク・ライフ・バランスの実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する職員一人ひとりの意識向上を図る。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ワーク・ライフ・バランスの実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する職員一人ひとりの意識向上につながる研修を実施する。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**1**	**市職員に対する男女共同参画研修の充実**
取組の具体的内容	**公文書における男女共同参画の視点に立った文書表現について周知します**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	「男女共同参画の視点からの行政刊行物の表現の手引書」の周知	1回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	1回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画週間における啓発の一環として、「男女共同参画の視点からの行政刊行物の表現の手引書」を庁内に周知した。
	(取組の効果と課題) 市が発行する刊行物において、男女共同参画の視点に立った表現を行うことにより、市民の男女共同参画意識の醸成につなげている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き庁内に向けての意識啓発を行うとともに、手引書の内容も適宜見直す必要がある。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**2**	**事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供**
取組の具体的内容	**JOBナビすいたにおいて、子育て両立支援求人を含む求人を開拓し、子育てをしながら就職を希望する方が就職に結びつくようマッチングを図ります**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	啓発と情報提供	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 吹田市無料職業紹介所において、仕事と子育ての両立支援に取り組む求人を掲載。企業数2社、求人数5件。
	(取組の効果と課題) 仕事と子育ての両立支援求人を打ち出す事業所が多くない実態の中で、子育て中の女性も含め、企業が求める人材を掘り起こすことによって、求職者とのマッチングを高めていく。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も事業所と求職者のマッチングを高め、就職に結びつくよう支援に取組む。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**2**	**事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供**
取組の具体的内容	**事業者、労働者への男女共同参画の啓発のため、事業所向けに出前講座を実施します**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	出前講座の実施回数	1回以上

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0回	1回	0回	0回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 出前講座の実施はなかったが、市内事業所で組織する協議会の会議において、女性活躍推進に関する啓発を行った。
	(取組の効果と課題) 事業所向けの出前講座の実施に向けて、より一層の事業所への働きかけが必要。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業者、労働者への啓発について、工夫する。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**			
主な取組	**2**	**事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供**			
取組の具体的内容	**事業者、労働者への男女共同参画の啓発のため、事業所向けに出前講座を実施します**				
担当室課	**男女共同参画センター**			**計画推進の指標番号**	**20・21・22**
目標	項目		数値等		
	対象講座開催数		2講座		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	2講座	0講座	3講座	3講座	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内をし、3つの事業者に対して研修会(出前講座)を実施した。				
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、男女共同参画について考える機会を提供することができた。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**			
主な取組	**2**	**事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供**			
取組の具体的内容	**性別にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりを推進するため、労働問題全般に関する啓発冊子の配布による情報提供や講座を実施します**				
担当室課	**男女共同参画センター**			**計画推進の指標番号**	**20・21・22**
目標	項目		数値等		
	情報提供回数		2回		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	2回	3回	7回	7回	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内をし、3つの事業者に対して研修会(出前講座)を実施した。				
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、働きやすい職場環境づくりに関する情報を提供することができた。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**2**	**事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供**
取組の具体的内容	**性別にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりを推進するため、労働問題全般に関する啓発冊子の配布による情報提供や講座を実施します**	
担当室課	**地域経済振興室**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	啓発冊子の作成	年2回以上

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	年3回実施	年3回実施	年3回実施	年3回実施

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 市内公共施設等に啓発冊子(各回1,000部)を配布し、市HPにも同内容を掲載。
	(取組の効果と課題) 各種労働問題については、継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き冊子等で啓発を実施していく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**3**	**家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進**
取組の具体的内容	**男女が共に協力して育児ができるよう、育児に関する技術指導及び知識や情報の提供に努めます**	
担当室課	**すこやか親子室**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	プレパパ・ママ教室への参加者数(男女)	1920人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	816人	1262人	1404人	1171人

実績値における前年度からの増減理由	R5年度の実績を踏まえ、R6年度より定員を増枠をしたが、R7年度は毎回定員に満たなかった。出産病院の妊婦教室やインターネット・SNS等から情報を得て学んでいる人が増えていると推察する。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 助産師による講義や赤ちゃん人形を用いた抱っこの実習等を通じて、家事や育児の協働について啓発している。 実績値は目標値より低いものの、「いつでも学べる両親教室」の動画視聴や産科医療機関での実地指導を受ける機会があることから評価をAとした。
	(取組の効果と課題) 参加後のアンケート結果より、教室内容への満足度は99.8%と高い。「参加してみて心境の変化はありましたか」の質問に対して「変化があった」と回答した人は80.5%あり、育児参加に肯定的な意見が多かった。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、父親と母親が協力して育児ができるように育児の方法等が学べる教室を提供し、育児及び家事の協働について啓発していく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**			
主な取組	**3**	**家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進**			
取組の具体的内容	**男性の家事・育児・介護への参画を促進するための学習の機会を提供します**				
担当室課	**まなびの支援課**			**計画推進の指標番号**	**20・21・22**
目標	項目		数値等		
	生涯学習事業における講座実施数		5回		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	2回	3回	3回	3回	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 子育て世代の男性及び夫婦を対象とした育児に関する講座を3回実施した。				
	(取組の効果と課題) アンケートにて講座内容に満足した旨の回答が多く、男性の育児への参画について高い効果が期待できる。 夫婦を対象とする講座において、男性の育児への参加を促すような内容を盛り込むことで、男女共同参画の推進を図る。				
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	受講者からの意見を取り入れた講座の追加実施等を検討する。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**			
主な取組	**3**	**家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進**			
取組の具体的内容	**男性の家事・育児・介護への参画を促進するための学習の機会を提供します**				
担当室課	**男女共同参画センター**			**計画推進の指標番号**	**20・21・22**
目標	項目		数値等		
	対象講座延べ男性受講者数		80人		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	87人	135人	60人	56人	
実績値における前年度からの増減理由	講座の受講者が減少したため。				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 初心者向け男性料理講座と、父と子で協力して作る料理講座を実施した。また、「夫婦で子育て」をテーマにした講座の中で、父と子でできる遊びを紹介した。				
	(取組の効果と課題) 初めてセンターに来た受講者が多く、啓発の効果があった。				
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男性に家事を担うきっかけにしてもらうため、継続して実施していく。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**
取組の具体的内容	**市報・広報誌・SNSなど多様な媒体を通じて男女共同参画に関する情報を発信します**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	市報すいたへの記事掲載、啓発冊子の発行、SNSなどを活用した情報発信	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ホームページやSNSを活用して男女共同参画に関する情報を発信した。 中学生向け啓発冊子「エール」の発行、「女と男のいきいきライフ」の市報すいたへの掲載を通して情報を発信し、意識啓発を行った。 (取組の効果と課題) 全戸配布する市報すいたに掲載することで、男女共同参画に関心がない市民にも広く周知することができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後とも男女共同参画に関する情報を効果的に発信できるよう工夫する。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**
取組の具体的内容	**市報・広報誌・SNSなど多様な媒体を通じて男女共同参画に関する情報を発信します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	啓発誌ソフィアの発行回数	2回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	2回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 啓発誌ソフィアで、男女共同参画センターをPRすることに加えて、男女共同参画の視点を持った特集記事等により、読者に対して男女共同参画についての諸問題について啓発を行った。情報ライブラリーでは、テーマ展示(テーマを決めて関連図書の紹介を行う)による啓発を実施した。 (取組の効果と課題) ソフィアの配布を紙媒体だけでなく、ホームページにも掲載し広く啓発を行った。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の広報・周知に努めていくとともに、当啓発誌・当センターの認知度向上にも努めていく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**			
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**			
取組の具体的内容	**市報などで情報発信を行う際に、男女共同参画の視点を持って情報発信を行うよう努めます**				
担当室課	**広報課**			**計画推進の指標番号**	**20・21・22**
目標	項目		数値等		
	設定なし		設定なし		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	－	－	－	－	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 各種広報活動を行うにあたり、性別による固定的な役割分担を助長することのないように、文字・画像などを活用した表現に誤りや偏りがないよう注力した。				
	(取組の効果と課題) 令和7年度の広報活動において、男女共同の視点で問題となるようなことはなかった。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の視点をもって情報発信に努める。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**			
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**			
取組の具体的内容	**市民意識調査や調査研究を行い、その結果を事業に反映します**				
担当室課	**人権政策室**			**計画推進の指標番号**	**20・21・22**
目標	項目		数値等		
	男女共同参画に関する市民意識調査・実態調査の実施		設定なし		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	－	－	実施	ー	
実績値における前年度からの増減理由	男女共同参画プランの策定前に実施するため。				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 令和7年度は不実施。				
	(取組の効果と課題)				
取組に対する事業の評価	―	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市民意識を適切に把握し、今後の施策を推進するための基礎資料とできるよう調査項目を精査する。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**
取組の具体的内容	**市民意識調査や調査研究を行い、その結果を事業に反映します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	調査研究の実施(隔年で報告書を作成)	隔年発行

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	500部発行	テーマ:デートDV予防啓発 出前授業	500部発行	テーマ:情報ライブラリーの蔵書と 利用の状況について

実績値における 前年度からの増減理由	
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 「情報ライブラリーの蔵書と利用の状況について」をテーマに、図書管理システムを利用したデータ抽出、分析作業を行った。
	(取組の効果と課題) 調査研究結果を踏まえ、次年度以降の事業実施に生かす。
取組に対する 事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も男女共同参画に関わる様々なテーマについて調査研究し、事業実施に生かしていく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**
取組の具体的内容	**男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	図書貸出冊数	2,500冊

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,491冊	2,763冊	2,294冊	1,848冊

実績値における 前年度からの増減理由	月によっては貸出率が前年の5割程度になっているため。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 情報ライブラリー便り「Duo Library」を毎月発行し、窓口での配布やホームページへの掲載によって、新着図書の内容紹介を行った。また、情報ライブラリースタッフと協力し、図書紹介POP等を作成した。
	(取組の効果と課題) 情報ライブラリー自体の認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。
取組に対する 事業の評価	B A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	情報ライブラリーの認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**
取組の具体的内容	**男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	関連視聴覚教材貸出	小中学校で2本

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2本	1本	1本	0本

実績値における前年度からの増減理由	当該取組に関する教材の保有及び周知が十分ではないため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 各研修で教材の活用について案内を行った。人権に関するビデオ・DVD等視聴覚教材を市立小・中学校及び幼稚園へ貸出し、当該教材の視聴を通じて人権学習の推進を支援した。
	(取組の効果と課題) 視聴覚教材は各小・中学校及び幼稚園から活用するニーズも多く、また視覚的に子供たちの心に残りやすく、人権学習をより充実させることに活用できた。すべての教育活動を人権教育の視点に立って進め、多様な価値観を認め、互いの人権を尊重する態度を養うことができた。しかし、ジェンダー平等に関する貸出が少なく、教材の周知を全校に十分に図れていないことが課題である。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	貸出用視聴覚教材の充実を図るとともに、研修で教材の周知を図る。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**1**	**男女共同参画意識の形成**
主な取組	**4**	**市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発**
取組の具体的内容	**男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します**	
担当室課	**中央図書館**	**計画推進の指標番号** **20・21・22**

目標	項目	数値等
	個人貸出総計(電子書籍を含む) 人口×12冊	4,611,624冊

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,848,694冊	3,892,520冊	3,706,124冊	3,558,417冊

実績値における前年度からの増減理由	主に図書館総合システムの更新のため、年末年始に例年より長期の休館期間を設けたことで、前年度の実績値を下回った。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに、適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。
	(取組の効果と課題) 他部署と行政課題を共有し、資料案内等が他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。
取組に対する事業の評価	C A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習機会の提供に努める。

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	2	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	1	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**学校等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を年間計画の中で位置づけ、実施します**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	男女平等教育を含む人権教育の推進	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女平等を含む、人権教育を年間計画に位置づけ実施した。
	(取組の効果と課題) ジェンダーにとらわれない視点に立っているか、振り返る機会を持つことを意識してきた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女平等教育を含む人権教育の推進を年間計画の中に位置づける。

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	2	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	1	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**学校等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を年間計画の中で位置づけ、実施します**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の実施校	(全小中学校)54校 令和7年度から53校

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	54校	53校

実績値における前年度からの増減理由	増減なし(令和7年度は全小中学校数が53校であるため)
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 各校にて人権教育推進計画を作成し、当該計画に男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を位置づけ、児童・生徒及び教職員に周知を図った。また、人権教育担当者会において中学校ブロックで取組を共有した。
	(取組の効果と課題) 各校の人権教育計画の充実を図るため、人権教育担当者会において取組を共有した。今後は、中学校ブロックを超えて全小・中学校での取組を共有し、好事例を広げていく取組が必要である。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育・保育に取り組みます**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	ジェンダーにとらわれない保育内容の計画・実施	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 日常の教育・保育を振り返りながら、子供の個性を尊重した教育・保育に取り組んだ。
	(取組の効果と課題) 子供達は性別にとらわれず多様な人達に親しみを持ち関わることができている。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引きつづき、ジェンダーにとらわれない視点を持ち、保育内容を計画し振り返り共有しながら実施する。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育・保育に取り組みます**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育の実施校	(全小中学校)54校 令和7年度から53校

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	54校	53校

実績値における前年度からの増減理由	増減なし(令和7年度は全小中学校で53校のため)
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 小中学校において、保健の授業を中心に、自他を大切にする心を育むことや、性情報に対する適切な対処等に関する授業を行った。さらに、インターネットやSNS等にかかる事案の現状や傾向について関係機関との情報共有を図り、各校において、人権推進計画を中心に、学校教育活動全体を通して子供の個性を育む教育活動を行った。
	(取組の効果と課題) 各校において学習指導要領に則り、保健の授業を中心として学校の教育活動全体を通して、個性を尊重した教育に取り組んだ。今後、あらゆる研修を通して、人権侵害事案の現状と傾向について情報共有を図る必要がある。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号** **24**

目標	項目	数値等
	男女共同参画、ジェンダー平等に係る研修の充実	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画・ジェンダー平等について、保育教諭等で共通理解をし、性別にとらわれない教育・保育に取り組んだ。
	(取組の効果と課題) 年間計画に位置づけて、教育・保育を行うことで、職員の意識を高めることができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	多様性を尊重し、教育保育に関わる職員研修の充実に努めます。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号** **24**

目標	項目	数値等
	人権教育担当者会、初任者研修	2回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	2回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権教育担当者会や初任者研修、校内研修において、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図る研修を行った。
	(取組の効果と課題) 人権教育担当者会や初任者研修において、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図った。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**			
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**			
取組の具体的内容	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります**				
担当室課	**教育センター**			**計画推進の指標番号**	**24**
目標	項目		数値等		
	研修内容に対する肯定的評価率		（とても良い、良い） 100%		
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	96.5%	99.5%	100.0%	100.0%	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和7年度の 取組状況	（取組の実施状況） 男女共同参画・ジェンダー平等に係る研修をキャリアステージに応じて実施した。				
	（取組の効果と課題） 男女共同参画・ジェンダー平等に向け、教職員研修を通して、社会的な課題や実情を把握する視点をもつだけでなく、改善・実現していくためには、自分たちはどのようなことができるか、自身の言動や行動が意図せず傷つけるようなことになっていないか等自己啓発も踏まえて取組を進めた。				
取組に対する 事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**			
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**			
取組の具体的内容	**ジェンダーの視点から保育士等向け手引書を作成します**				
担当室課	**保育幼稚園室**			**計画推進の指標番号**	
目標	項目		数値等		
	ジェンダーの視点から保育士等向けの手引書を作成する		設定なし		
実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	－	－	－	－	
実績値における 前年度からの増減理由					
令和7年度の 取組状況	（取組の実施状況） ジェンダーにとらわれない教育・保育に取り組んだが、保育教諭向けの手引書の作成にはいたらなかった。				
	（取組の効果と課題） 教育・保育を行っていく中で、男女共同参画・ジェンダー平等について、保育教諭等で共通理解を深めてきた。 手引書作成に向けて、他市の事例や手引きを集めて検討したが、各園への意識調査や話し合いの機会をもてず、作成にはいたらなかった。				
取組に対する 事業の評価	C	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	他市の状況や幼児期のジェンダーに関するガイドブック等を参考にしながら、各園の職員に対して話し合いの機会を設けたり、意識調査を行ったりして、手引書作成に取り組む。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**図書・教材等をジェンダーの視点で見直します**	
担当室課	**保育幼稚園室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	ジェンダーにとらわれない視点での教材選択	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ジェンダーにとらわれない視点にたち、教材、絵本、玩具などを選定した。
	(取組の効果と課題) 教材、絵本、玩具などを通して、保護者や子供にジェンダー平等の意識を伝えることができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ジェンダーにとらわれない視点に立ち、各園で教材、絵本、玩具や保護者むけの通知等を選定する。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**図書・教材等をジェンダーの視点で見直します**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	該当する取組なし	

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	–	–	–	–

実績値における前年度からの増減理由	
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 当室において、図書・教材等をジェンダーの視点で見直す業務がないため、実施していない。
	(取組の効果と課題)
取組に対する事業の評価	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	相談窓口がある小・中学校数	（全小中学校）54校 令和7年度から53校

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	54校	53校

実績値における前年度からの増減理由	増減なし（令和7年度は全小中学校で53校のため）
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 全校において、スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けて、子供に対する相談窓口を設けた。学校以外の相談窓口についても、全校において周知を行った。
	（取組の効果と課題） 全校において、スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けて、子供に対する相談窓口を設けたことで、子供が安心して学校生活を送ることができた。学校以外の相談窓口についても、引き続き丁寧な周知を行うことで、さらに安心して学校生活を行えるようにしていく。
取組に対する事業の評価	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	今後も継続して取組んでいく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります**	
担当室課	**教育センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率	100%

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	93.4%

実績値における前年度からの増減理由	ペーパーレス化及び、より多くの人に周知することを目的として、チラシの配布からデータでの配信やホームページを活用した周知への変更を行ったため。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 相談できる窓口として、教育センターでの来所相談や電話相談、市立小学校での出張教育相談、市立小・中学校でのスクールカウンセラーへの相談を実施しており、その周知を行っている。
	（取組の効果と課題） 相談窓口の周知について、市立小・中学校の保護者に対して連絡網アプリによる配信を実施し、ホームページの情報の整理を行った。
取組に対する事業の評価	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	相談窓口の周知について、プッシュ型の支援を進めるため、チラシの配布・配架によらずさまざまな媒体を活用した配信を検討していく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**1**	**学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
取組の具体的内容	**各校の実践交流を深め、小中一貫した男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育に取り組みます**	
担当室課	**学校教育室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	人権教育担当者会	2回

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	2回

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 様々な人権課題について、人権教育担当者をはじめ、すべての教職員が豊かな人権感覚を持って児童・生徒の指導に当たることができるように、4回の人権教育担当者会(学校教育室所管)及び教育課題別研修(教育センター所管)との共同で、外部講師を招聘し、「児童生徒間の性暴力事案から子どもの人権を考える」をテーマとした研修を行った。また、人権教育担当者会で中学校ブロックごとに人権教育計画や人権課題の実践について共有する機会を設定し、様々な人権課題に応じた取組ができるように取組んだ。 (取組の効果と課題) 各校の人権教育計画に基づき、計画的に取り組むことができた。また、人権教育担当者会を年4回行い、様々な人権課題について学び、人権教育計画や人権課題の実践を中学校ブロックで共有することにより、人権教育の推進につなげることができた。現在の人権課題(いじめ、不登校、性的マイノリティ、民族差別、障害者差別等)に対して個別の人権課題に応じた取組ができるよう、人権教育担当者会だけでなく、初任者研修や10年経験者研修、教育課題別研修において、実践的な研修を実施し教科横断的な人権教育の推進を図る。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**2**	**男女共同参画のための生涯学習の推進**
取組の具体的内容	**男女共同参画のための生涯学習を推進するため、講座、情報提供、学習機会の充実を図るとともに、新しい生活様式に対応したオンライン講座を実施します**	
担当室課	**まなびの支援課**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	生涯学習事業における講座等の充実を図る	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 生涯学習事業における講座の広報にSNSを用いるなど情報提供の充実を図った。 子育て世代の男性及び夫婦を対象とした育児に関する講座を3回実施した。 (取組の効果と課題) 講座のテーマ・内容をより参加しやすいものを提示することで、男女共同参画の推進を図る。
取組に対する事業の評価	B A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	実施方法や内容について、受講者からの意見等を参考に検討する。

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	2	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	2	**男女共同参画のための生涯学習の推進**
取組の具体的内容	**男女共同参画のための生涯学習を推進するため、講座、情報提供、学習機会の充実を図るとともに、新しい生活様式に対応したオンライン講座を実施します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	主催講座開催数 （学校等への出前講座及び参画スタッフ研修を除く）	35講座

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	42講座	37講座	32講座	37講座

実績値における 前年度からの増減理由	昨年は1回の実施だった講座を2回実施したため、実態に合わせて一部の集計方法を見直したため。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性向け、男性向け、子育て層向けなど様々な層に向けて講座を実施した。育休中の人向けの講座は、オンラインで開催するなど、内容に応じて開催形態を検討した。 (取組の効果と課題) 子育て層向けの講座はSNSでの情報発信を行うことで、受講者が集まりやすいが、それ以外の講座は周知の方法を見直す必要がある。

取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	講座内容に応じた周知方法を検討する。	

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	2	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	2	**男女共同参画のための生涯学習の推進**
取組の具体的内容	**夢つながり未来館等における調理イベントや野外活動、親子で参加する交流活動等を通じて、子供たちの男女共同参画意識の形成を図ります**	
担当室課	**青少年室**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	自然体験活動や各種イベントを通じて、 男女共同参画に関する認識と理解を深める	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の 利用者数　408,141人	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の 利用者数　423,252人	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の 利用者数　444,935人	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の 利用者数　435,486人

実績値における 前年度からの増減理由	前年度からの減少理由としては、夢つながり未来館が、山田駅前図書館の一時休館の影響で利用者が減少したことと、自然の家が、貸し切りバス料金の高騰等で宿泊行事を見送る団体が増えたこと等による。
令和7年度の 取組状況	(取組の実施状況) 宿泊施設では自然に触れながら男女の区別なく炊事活動や野外活動を行う場を提供した。 夢つながり未来館では、フードロス削減の取り組みにより提供された食材を活用し、高校生年代を対象とした調理イベントを実施し、青少年が男女の区別なく協力して創作できる環境を整えた。 (取組の効果と課題) 調理活動を通して、性別役割分担の固定観念の緩和を図れた。男女混合で協力して調理を行う過程で、男女がともに対等な存在であるという意識形成を図り、性別にとらわれず役割を分担する機会を提供した。

取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、各施設において、男女共同参画に関する認識や理解を深めるための啓発活動を行い、次代を担う子供たちの男女共同参画意識の形成につながる事業展開を行う。	

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	2	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	2	**男女共同参画のための生涯学習の推進**
取組の具体的内容	**夢つながり未来館等における調理イベントや野外活動、親子で参加する交流活動等を通じて、子供たちの男女共同参画意識の形成を図ります**	
担当室課	**青少年クリエイティブセンター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	各教室の募集定員	80%

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・親子ふれあい体操 … 152% ・親子でダンス …… 100% ・おんぷkids …… 95.5%	・親子ふれあい体操 … 183% ・親子でダンス …… 134% ・おんぷkids …… 88.5%	・親子ふれあい体操 … 144% ・親子でダンス ……113% ・おんぷkids …… 69.1%	・親子ふれあい体操 … 176% ・親子でダンス ……253% ・おんぷkids …… 82.5%

実績値における前年度からの増減理由	より興味が湧く内容、参加しやすい日時等、開催事業を見直すことで増加に繋がった。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 親子交流を図る事業への関心が高く、利用者のニーズに応えるような事業を実施した。 今後の事業に向けて、保護者を対象にアンケートを実施している。
	(取組の効果と課題) 取組の効果として、おんぷkidsの参加者割合も増加したものの、定員を下回っていることから、取組方法の検討を実施予定。
取組に対する事業の評価	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	アンケートの結果を参考に、内容等の充実をはじめ、利用者のニーズに応える事業を展開していく。

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	2	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	3	**男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成**
取組の具体的内容	**男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー(メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力)を高める学習機会を提供します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	対象講座延べ受講者数	260人

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	293人	243人	209人	166人

実績値における前年度からの増減理由	参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の受講者数が減少したため。
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 映画を通して学習の機会を提供した。また、男女共同参画センターで活動する市民スタッフの養成講座を実施した。
	(取組の効果と課題) 上映会は好評で抽選になることが多いが、60代以上の参加者が多いので、若年層への啓発方法を考えていく必要がある。
取組に対する事業の評価	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	若年層にも来てもらえるような作品の上映を考える。また、対象者に届く情報発信を行う。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**3**	**男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成**
取組の具体的内容	**男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー（メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力）を高める学習機会を提供します**	
担当室課	**中央図書館**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	個人貸出総計（電子書籍を含む） 人口×12冊	4,611,624冊

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,848,694冊	3,892,520冊	3,706,124冊	3,558,417冊

実績値における前年度からの増減理由	主に図書館総合システムの更新のため、年末年始に例年より長期の休館期間を設けたことで、前年度の実績値を下回った。
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに、適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。 （取組の効果と課題） 他部署と行政課題を共有し、資料案内等が他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。

取組に対する事業の評価	C	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習機会の提供に努める。	

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	**2**	**男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進**
主な取組	**3**	**男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成**
取組の具体的内容	**学校などにおいて、インターネットをはじめ様々なメディアにおける固定的性別役割分担意識に基づく表現や、性・暴力表現など女性の人権を侵害する情報に対して、主体的に対応できるメディア・リテラシーを育むためのデジタル・シティズンシップ教育を推進します**	
担当室課	**教育センター**	**計画推進の指標番号**

目標	項目	数値等
	小学校1年生から中学校3年生までの各学年における デジタル・シティズンシップ教育の教材の作成率	100%

実績値	令和4年度（参考）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100%	100%

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	（取組の実施状況） 小学校1年生から中学校3年生までの各学年におけるデジタル・シティズンシップ教育の教材を作成・更新をした。 また、児童・生徒自身が、様々なメディアにおける表現や情報に対して、問題を発見し、解決ができる学びを進められるよう、授業の進め方や内容を検討する研修を実施し、各校の実情に合わせて授業を行えるよう支援した。 （取組の効果と課題） 児童・生徒が、メディア・リテラシーを育むためには、時間が必要なため、取組を継続する必要がある。

取組に対する事業の評価	A	A：目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B：目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C：目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策）	その地域特有の児童・生徒の実態にあわせた教育となるよう、中学校区の取組を継続して推進していく。	

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	3	**国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進**
主な取組	1	**ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供**
取組の具体的内容	**ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データやSDGsに関する情報提供、講座を実施します**	
担当室課	**人権政策室**	**計画推進の指標番号** **25・26**

目標	項目	数値等
	ジェンダー・ギャップ指数に関する情報の発信	設定なし

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	―	―	―	―

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報をホームページに掲載した。
	(取組の効果と課題) ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進について市民に周知することができた。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	様々な機会を捉え、ジェンダー・ギャップの現状や女性の活躍推進に関する啓発を実施する。

基本方向	3	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**
基本課題	3	**国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進**
主な取組	1	**ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供**
取組の具体的内容	**ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データやSDGsに関する情報提供、講座を実施します**	
担当室課	**男女共同参画センター**	**計画推進の指標番号** **25・26**

目標	項目	数値等
	対象講座開催数	3講座

実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3講座	3講座	3講座	3講座

実績値における前年度からの増減理由	
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の中で、ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データを用いながら男女共同参画への理解を深める時間を設けた。
	(取組の効果と課題) メインテーマにならない場合でも、講座の中で伝えていく。
取組に対する事業の評価	A A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画について考える機会を提供する。

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**		
基本課題	**3**	**国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進**		
主な取組	**2**	**外国人家庭に対する子育てなどの支援**		
取組の具体的内容	**子育て中の外国人を支援するため、交流や情報交換の場を提供します**			
担当室課	**文化スポーツ推進室**		**計画推進の指標番号**	
目標	項目		数値等	
	子育て支援「こあらくらぶ」の延べ参加者数		100人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	142人	79人	133人	61人
実績値における前年度からの増減理由	令和6年度は外国人等の家族に加え、日本人の家族の受け入れも行っていたが、令和7年度からは外国人等の家族のみ受け入れするよう対象者を変更したため。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) ・外国籍市民等が日本での子育ての不安を和らげられるよう、お互いに共感したり、情報共有ができる交流の場を作った。 ・リーフレットやホームページで再度関係機関へも広く周知した。 ・保健センターにおいて、必要な方(妊婦、新生児フォロー対象者等)へ案内している。			
	(取組の効果と課題) 外国籍市民等が地域で安心して子育てできる環境が作られている。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	参加者数の少なかった実施内容については見直しを行い、より参加者数の増加が見込める内容に変更することを検討する。			

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**		
基本課題	**3**	**国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進**		
主な取組	**2**	**外国人家庭に対する子育てなどの支援**		
取組の具体的内容	**日本語指導が必要な児童生徒の学習を支援するため、通訳者を派遣します**			
担当室課	**学校教育室**		**計画推進の指標番号**	**27**
目標	項目		数値等	
	児童・生徒への通訳者派遣回数		対象の児童・生徒数に応じて、 基準回数分の通訳者の派遣回数	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	541回	604回	948回	1364回
実績値における前年度からの増減理由	通訳を必要とする帰国・渡日の児童生徒が増加しているため。			
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 帰国・渡日の児童・生徒の中で、日本語指導が必要な児童・生徒に対し、母語通訳者を派遣し、日本語指導が必要な児童・生徒の学習活動の支援に取り組んだ。また、対象児童・生徒の保護者が通訳を必要とする場合においても、行政通訳ボランティアを活用し、保護者に対しても通訳者の派遣を行った。			
	(取組の効果と課題) 児童・生徒の学校生活において、効果的に通訳者を派遣し、対象児童・生徒の学習や学校生活を支援することができた。一方で、通訳を必要とする帰国・渡日の児童・生徒や派遣希望校の増加、多様化する母語に対し、通訳者の人材確保が困難となっている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	通訳機の利活用、日本語指導加配担当教員による指導を行う。			

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**4**	**男女共同参画推進体制の充実**			
主な取組	**1**	**市民団体等との協働・連携**			
取組の具体的内容	**市民団体などの活動や交流を支援し、連携して男女共同参画社会の実現を目指します**				
担当室課	**男女共同参画センター**			**計画推進の指標番号**	
目標	項目		数値等		
	市民グループ等との連携数		8回		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	8回	9回	10回	10回	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画センターグループの会(センターで活動する団体等の交流と親睦を図り、より良いセンターになるように活動する会)と会議を8回開催し、共催行事を1回実施した。また、市民グループ等を対象に自主企画講座を募集したところ、1団体から応募があり、1団体を支援して市民向け講座を開催した。				
	(取組の効果と課題) センター主催講座とは異なる特色を持った講座を開催することができた。また、通常とは異なる受講者層に啓発することができた。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	より多くの市民グループ等に自主企画支援事業を活用してもらえるように広報していく。支援内容の見直しも行う。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**4**	**男女共同参画推進体制の充実**			
主な取組	**2**	**男女共同参画センターの機能の充実**			
取組の具体的内容	**男女共同参画を推進する拠点施設として、男女共同参画に関する情報提供、調査研究、主催講座、相談事業の充実を図ります**				
担当室課	**男女共同参画センター**			**計画推進の指標番号**	**28**
目標	項目		数値等		
	相談実施日数		320日		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	324日	325日	328日	325日	
実績値における前年度からの増減理由					
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 女性のための電話相談を194日、女性のための悩み・DV相談を95日、女性のための法律相談を12日、男性のための電話相談を24日実施した(計325日)。 そのほか、主催講座の開催や、市民と協同して制作する啓発誌ソフィアの発行など、様々な事業に取り組んだ。				
	(取組の効果と課題) 様々な世代の人に利用してもらえるよう広報に工夫をする。特に、男性のための電話相談については、周知の機会を増やしたい。				
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	相談や主催講座に来られた人も含め、センターの様々な事業について市民に知ってもらう機会を作り、男女共同参画についての理解を促進する。				

基本方向	**3**	**男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり**			
基本課題	**4**	**男女共同参画推進体制の充実**			
主な取組	**3**	**男女共同参画センターの利用の促進**			
取組の具体的内容	**男女共同参画センターに関する情報(主催講座、相談事業、情報ライブラリーなど)について、市報、啓発誌ソフィア、SNSなどを通じた発信を強化し、市民による認知および利用の一層の促進を図ります**				
担当室課	**男女共同参画センター**		**計画推進の指標番号**	**28**	
目標	項目		数値等		
	施設の利用人数		60,000人		
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	46,869人	51,355人	39,220人	39,100人	
実績値における前年度からの増減理由	令和6年4月1日に教育センターが男女共同参画センター内から移転したことに伴って、利用人数が減少した。令和6年度と横ばいである。				
令和7年度の取組状況	(取組の実施状況) 貸室事業や相談及び主催講座の実施を通じて、相互の事業の周知を図り、男女共同参画センターの利用促進を行った。 主催講座については、女性向け、男性向け、子育て層向けなど様々な層に向けて講座を実施した。				
	(取組の効果と課題) 目標値を施設利用人数としているが、一昨年の教育センターの移転により状況が大きく変化したため、目標を見直す必要がある。				
取組に対する事業の評価	-	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である			
今後の方向性(評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男女共同参画センター自体の認知度を上げることにより、男女共同参画についての市民の理解を深めていく。				

第5次すいた男女共同参画プラン
令和7年度（2025年度）施策実施状況
－年次報告－

発　行/　令和8年(2026年)10月
吹田市　市民部　人権政策室
〒564－8550　吹田市泉町１－３－40
℡:06－6384－1461